

地方史情報 156

2022年7月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	新潟県	40	奈良県	67
青森県	6	富山県	43	和歌山県	68
宮城県	7	石川県	44	鳥取県	69
秋田県	7	長野県	45	岡山県	69
福島県	8	静岡県	49	広島県	72
栃木県	12	愛知県	51	徳島県	74
群馬県	12	三重県	53	佐賀県	75
埼玉県	14	滋賀県	54	長崎県	76
千葉県	15	京都府	55	宮崎県	76
東京都	18	大阪府	60	沖縄県	77
神奈川県	33	兵庫県	64	寄贈図書	78

北海道

◆アイヌ語地名研究

アイヌ語地名研究会(発売:北海道出版企画センター)

〒001-0017札幌市北区北七条西1丁目1-1 コーポ望 FAX011-728-6400

年5000円 1998年創刊

◇24 2021.12 B5 172p 1700円

ペーパンの意味を地形の特徴から考える

地名「さつほろ」採録から350年(2)―札幌、野幌、篠路

道南地域のタブコブ tapkop を巡る

スブン地名の傍にはしばしばポロ地名があることへの小考察

「白人村」と「唖別村」

江戸期における北海道以北の地図を読む(1)

小林 耕一

中野 克良

中野 良宣

中野 良宣

早田 国光

大竹進／葛野大喜／花輪陽平／藤村久和

資料紹介

アイヌ語地名研究会の行事と活動

第24回アイヌ語地名研究大会

講演 “狄言葉” 成立の研究	葛野 大喜
「巖見澤」という地名の色々な説	山下 栄光
三笠市にあるタブコブの地名	山下 栄光
遺稿「アイヌ語地名にみられる存在を表す他動詞」掲載にあたって	葛野大喜／花輪大喜／藤村久和
「切替氏の遺稿」に関する付記および補足資料	高橋 靖以
アイヌ語地名にみられる存在を表す他動詞	切替 英雄
講演 樺太アイヌの「戦後」	榎木貴美子
アイヌ語勉強会（毎週木曜日）	高橋 和男
アイヌ文化を読む会（毎月第一火曜日）	佐賀 彩美
アイヌ文化を読む会（毎月第一火曜日）	土井 勝典
古文書部会報告（毎月第四火曜日）	澤田 敏明

◆浦幌町立博物館紀要

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2001年創刊

https://www.urahoro.jp/chosya_shisetsu/kokyoriyomuseum/

◇22 2022.3 A4 31p

浦幌町立博物館所蔵の2021年度採集の蝶標本	荒川 和子
足寄町 九州大学北海道演習林のトビムシ類	須摩 靖彦
鯉登行一から後藤仙桂宛ての一枚のはがき	
—浦幌村の北海道開発名誉作業班	後藤 秀彦
採集記録・観察記録 浦幌町におけるキタドジョウの記録	円子紳一／林巧真／持田誠

◆浦幌町立博物館だより

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2000年創刊

https://www.urahoro.jp/chosya_shisetsu/kokyoriyomuseum/

◇2022-4 2022.4 A4 2p

今年はフラワーソンの年	持田 誠
博物館の収蔵資料から こんな資料を集めています！	
長持(ながもち)	持田 誠
Pick up Book〔注目の本〕 図書館から	
『岩合光昭の日本犬図鑑』 岩合光昭文・写真 文渓堂	部田麻紗子

◆浦幌町立博物館年報

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2000年創刊

https://www.urahoro.jp/chosya_shisetsu/kokyoriyu/museum/

◇22 2021.11 A4 107p

◆標茶町博物館紀要

〒088-2261川上郡標茶町字塘路原野北8線58-9 TEL015-487-2332 2020年創刊

◇3 (通32) 2022.3 A4 24p

表紙 標茶町指定文化財 旧塘路駅通所の内部(令和2年10月)

北海道東部 太平洋岸・根釧原野における湿原と温暖化 小荷田行男

北海道東部釧路湿原周縁低湿地の3000年前以降の森林植生と推移

星野フサ／高嶋八千代／北川浩之／中村俊夫／春木雅寛

標茶町博物館 令和2年度年報

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒063-0037札幌市西区西野七条9-7-5 TEL011-676-6145

年3000円 1985年創刊 <https://tonden.org/>

◇71 2022.5 B5 80p 1000円

表紙絵図 屯田兵採用に関する内務省文書(明治27年3月27日、国立公文書館所蔵)

巻頭言 祖父と栃内元吉 池田 哲

子思孫尊 兵村を駆け回った産婆さん 屯田兵家族・水口イトを顕彰
記・荒井勇雄

屯田兵と拓殖医療の変遷 江口 憲人

陸軍省管轄時代の屯田兵士官について 有馬 尚経

一節抜粋 更科源蔵著『北海道と名づけた男 松浦武四郎の生涯』

大旅行家としての松浦武四郎とは(O)、渡辺浩平著『第七師団と戦争の時代 帝国日本の北の記憶』北鎮部隊・七師の数奇な軌跡を描く(A)

歴史探訪 琴似屯田兵村建設と村橋久成一その足跡と業績を紐解く 武石 詔吾

屯田兵のデザイン考 琴似兵屋計画図と完成図(『開拓史最初の屯田兵 琴似兵村』より) 八畳間「通説」に異議あり

古地図の散歩道 「札幌市外之図」明治24年作成(北大図書館北方資料室所蔵)

札幌市外之図と琴似屯田兵 「諸扣帳」に見る兵村の暮らし 梶田 博昭

表紙から 古文書録 罹災県民の屯田兵採用稟請書

明治27年・国立公文書館所蔵

北海道における仏教の歴史と開拓(下)

北国 諒星

屯田兵ルーツ情報 三澤日記の原本など再発見／消息情報 北滝川・堀口克己氏(明治23年7月、山形県出身)、上旭川・吉峰喜三郎氏(明治25年8月、香川県山田郡出身)、上原忠五郎氏(同、香川県阿野郡出身)

北海道屯田倶楽部の本 琴似屯田兵・三澤毅の記録 兵村の日常を綴った「諸扣帳」 翻刻版・解説付を6月に刊行 「屯田フロンティア双書」第2弾

開拓民のソウルフード

(E)

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇388 2022.4 A4 8p

カムイサウルス・ジャポニクス むかわ町のシンボル

櫻井 和彦

令和4年度協会活動 コロナ対策のうえ文化財事業

萬葉集の歌にみられる世界最古の植物ウイルス病の記録

舟山 廣治

第56回全道高等学校郷土研究発表大会 2年ぶり開催

本間 愛之

まちのイチオシ 下川町指定無形文化財第一号 上名寄郷土芸能

今井 真司

創立60周年記念 第2回文化財講演会「北海道・北東北の縄文遺跡群」の魅力

越田賢一郎

博物館ひろば 地元のアイヌ文化を伝える

弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民族資料館

片岡 佑平

観る・学ぶ! 道内博物館・美術館・文学館の催事情報

国登録有形文化財に答申 スイス人建築家設計の空沼岳ヒュッテ

北海道大学空沼小屋(札幌市)

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階 TEL011-271-4220

1961年創刊 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇94 2022.3 A5 128p

《創立60周年記念号》

表紙写真解説 史跡垣ノ島遺跡 盛土遺構 函館市白尻町

口絵写真 世界遺産登録 北海道・北東北の縄文遺跡群

巻頭言 創立六十周年を迎えて

角 幸博

「北海道・北東北の縄文文化」の世界遺産登録	阿部 千春
北海道に伝承している民俗芸能の新たな視点と特徴について	舟山 直治
モイワランについて	
一藻岩原始林・円山原始林天然記念物指定100年に寄せて	山崎 真実
北海道の文化財建造物周辺の10年間の歩み	角 幸博
旧会津藩士大竹作右衛門と小樽	山戸 大知
北海道名・国名・郡名選定過程の一考察	土井 重男
鷲別川のアイヌ地名―山田秀三説の補足を試みる	井口 利夫
勇払コタンを訪ねて(13)―太平洋岸に生きた人びと	山本 融定
松浦武一郎が見つけた北海道の遺跡(19世紀の遺跡分布図) 前編	富永 勝也
資料編 文化財一覧(国指定・道指定・国登録)・世界遺産登録「北海道・北東北の縄文遺跡群」	
(一財)北海道文化財保護協会の歩み(平成23年～令和4年)	編集運営委員会
機関誌『北海道の文化』総目次(第84号～第94号)	編集運営委員会
令和3年度(一財)北海道文化財保護協会事業報告	
令和3年度「文化情報」発行一覧	
北海道文化財保護功労者受賞者一覧(平成元年度～令和3年度)	



*北海道文化財保護協会は北海道教育委員会において部内検討が行われたのち、1955年に高倉新一郎(北海道大学教授)、河野広道(元北海道大学教授)、更科源蔵(郷土史家)らによって設立準備のための世話人会が持たれたが、一時中断となった。その後、文化財保護法施行から10年目を迎えた1960年に、設立の機運が高まり、世話人会が再開され、1961年の発起人会を経て、同年3月に創立された。

創立時の役員名簿には、会長に北海道拓殖銀行頭取、副会長に北海道銀行頭取と大手企業社長、監査に市立図書館長と郷土博物館長、理事に郷土研究会会長、大学研究者、町長らが名を連ね、会員加入と資金協力の依頼書は北海道知事と道

教育長の連名で発送された。官、財界、研究者が一体となった、いわばオール北海道体制によるものである。

2017年に一般財団法人となり、定款に協会の目的を、「北海道内文化財の保護及び保護思想普及のため関係機関及び団体等との連携をはかり、本道文化財の保存活用を通じ、会員相互の協力と理解を求め、もって道民文化の向上に資すること、並びに北海道民と北方圏諸国の人々との善隣有効をさらに強固に築き上げるため、北海道と近隣諸国地域の博物館の相互交流、自然史、考古学、歴史学、民俗学等の研究に寄与すること」と謳った。

機関誌『北海道文化』は、設立とおなじ1961年の12月に創刊されたもので、現理事長の角幸博氏は、巻頭言で「多くの方々が自由かつ深く文化財について語ることのできる文化誌としてさらに充実した内容にしていきたい」と述べている。さらなる継続と発展を期待したい。

青 森 県

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会

〒033-0022三沢市字園沢219-211 小比類巻満方 TEL0176-54-2583

2005年創刊

◇18 2022.3 B5 94p 1000円

表紙 鬼（岡三沢神楽）

口絵 岡三沢神楽 岡三沢神楽は鬼が出て終わり／両剣舞／演目数に

は数えない演目「花舞」

解説・山本 優

巻頭言

小比類巻満

『郷土史三沢』を拝読して

川上権三郎

『上北新誌』に見る大正十四年の三沢(4)（古間木駅前）

故 河村員伸

三沢村ものがたり(4)

故 米田清蔵

第十八号特集 私の文化小史

世の中が大学

津島 光

私と切手蒐集

小比類巻みつる

ミス・ビードル号のこと

松本サトコ

柔術の歴史と私

皆川 拓

三沢海友会(旧海軍軍人の集い)の考察

種市 嗣彦

「私の文化小史」特集にあたって

小比類巻満

農地改革と三沢の農業

馬場 操

郷土の英雄達 広沢安任～陳平と呼ばれた人～幕末編

皆川 拓

三沢漁業略史 昭和・戦前から戦後・漁港のできるまで(1)

小比類巻みつる

共同研究 追補〔三沢の方言〕(2)

馬場操・三沢郷土史研究会

コラム 四季折々

馬場 操

会報にみる一年間の活動概要

令和三年度の動向(会報第165号・第166号・第167号)

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会

〒036-8560弘前市文京町1 弘前大学人文学部日本史研究室内 1956年創刊

◇152 2022.4 B5 45p

「青森開港」の年代をめぐって—自治体の刊行物と歴史研究

工藤 大輔

津軽家一門の法華信仰と女人法華について

篠村 正雄

施設紹介 旧石戸谷家住宅—堀越城跡ガイダンス施設として生まれ変

わった旧石戸谷家住宅

福井 敏隆

宮 城 県

◆東北文化研究室紀要

〒980-0862仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 1959年創刊

◇63 2022.3 B5 16+63p

北海道の挨拶行動の地域差—都市性の観点から

大石 岳

日本列島における先史時代の石器兵站戦略

鹿又 喜隆

昔話資料から見た秋田県方言のオノマトベについて

工藤 真子

東北文化研究会例会の報告

堀 裕

秋 田 県

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322

年4000円 1974年創刊

◇135 2022.5 B5 4p

牛頭梅檀の話(前)

石郷岡千鶴子

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会

〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊

<http://akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html>

◇77 2026.6 B5 28p

表紙 鳥海山大物忌神社蔵岡口ノ宮本殿(山形県遊佐町)

- 史料紹介 宿坊記録 (旧象潟町小滝・福川家所蔵) 半田 和彦
 用語解説 星場(ほしば) 半田 和彦
 歴史情報
 「町田忠治資料館」について 伊藤 寛崇
 金森正也『秋田藩大坂詰勘定奉行の仕事―「介川東馬日記」を読む』
 は面白い 稲 雄次
 設立15周年記念誌「平鹿地方 近代の展開」を刊行しました 土肥 稔
 神宮滋著『大物忌神と鳥海山信仰―北方霊山における神仏の展開』渡辺 修
 文献情報 加入団体会誌、その他の会誌、著作等／催しもの情報

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内見桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
 1981年創刊 <http://w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html>

◇98 2022.5 B5 45p

表紙 岨谷峽《勝手の雄弓》／裏表紙 筑紫森《勝手の雄弓》

令和四年新春講演会講演録 私が惹かれる遊覧記の魅力

一津軽で白井秀雄は何を突見し、何を記録したか 深澤 恭仁

菅江真澄の日記執筆態度の変遷 金児 絃征

研究発表(令和三年度総会) 寺内の二ツ五輪について 永井登志樹／藤田守

秋田民俗研究の篤学の士 嶋田忠一氏を悼む 菊地 利雄

連載 真澄の一枚(30) 大黒の嫁迎え・ベンケイ・腰籠

『粉本稿』より(大館市立栗盛記念図書館提供) 菊地 利雄

図書紹介 淡路敦夫著『菅江真澄の旅を読む―能代山本編』

刊行物の紹介 『かなせのさと 第七集』秋田県立博物館菅江真澄資料センター／『真澄研究』秋田県立博物館菅江真澄資料センター／『菅江真澄資料集第二集―『旅と伝説』、内容見本、『草園』』石井正己・松山修編／『北の歴史から』第5号(2022年2月) 編集・発行人 菊池勇夫／『藤枝神社(別名藤森神社)とは』秋田県文化財保護協会太田支部編

福島県

◆ふおーらむ・F 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 2011年創刊
<http://fukushimafolklore.jimdo.com>

◇12 2021.8 A4 4p

新会長就任のメッセージ 福島県民俗学会のこれから

令和2年度の活動及び令和3年度総会報告

Column 近世会津の疫病送り

福島県内文化財の動き 省略された「相馬野馬追」

noteから 喜多方地方の農耕絵馬

◇13 2021.11 A4 4p

コロナ禍での学会運営

noteから 郷土料理「ベンケイ」の新たな発見

相馬地方にもあった藁人形

いわき市金刀比羅神社の例大祭と縁起物の市

ひろば コロナ禍と「鍾馗」

Announce 博物館企画展のご案内 いわき市暮らしの伝承館 企画展「いわき地方の道標」、福島県立博物館 企画展「ふくしま藁の文化」

◇14 2022.3 A4 4p

第37回東北地方民俗学会合同研究会 実施報告

水源確保の慣行「水林」について

ふくしまの民俗 針供養

岩崎 真幸

内山 大介

佐々木長生

岩崎 真幸

小澤 弘道

内山 大介

川崎 悠

岩崎 真幸

堀 充宏

齋藤りほん

大山 孝正

佐々木長生

佐々木長生

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方

2015年創刊

◇49 2022.6 A4 2p

作曲家佐々木俊一のSP

フークトープ紀行(49) 英国庭園(本宮市)

菅野 俊之

赤井 武史

◆福島の民俗 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 TEL0242-28-6000

年4000円 1973年創刊 <http://fukushimafolklore.jimdo.com>

◇50 2022.3 A5 135p

特集 福島県民俗学会と福島県の民俗研究五〇年

回想—福島県民俗学会、磐城民俗研究会

福島県史・福島県歴史資料館・県北民俗研究会

福島県民俗学会と有形民俗文化財の指定と保存

「会務報告」からみた『福島の民俗』の五〇年

田母野公彦

村川 友彦

佐々木長生

資料：福島県民俗学会の講演、研究発表一覧	岩崎 真幸
「磐城民俗研究会」が育み、そして残したもの	
付：『磐城民俗』総目次・磐城民俗研究会昭和39年以降の動向	合原香須美
福島県における民俗研究の歩みと県立博物館	内山 大介
只見町旧朝日公民館所蔵木箱墨書銘陶磁器	柳内 壽彦
福島県内で新たに調査した猫に関する石碑と石像	石黒伸一郎
明治期における三春人形の製作実態—恵比須屋所蔵の木型調査から	増藤 雄大
『会津農書』にみる地力維持と民俗	
—「田秋塙生」と「田冬水」を中心に(下)	佐々木長生
二本松神社例大祭の太鼓台(後編)	喜古 康浩
民俗短信	
ナショナリズムと民俗学	菅野 拓
二本松・コロナ禍中の太鼓台曳き廻し	喜古 康浩



* 福島民俗学研究会は、1970年に郡山市で岩崎敏夫を囲んだ準備会からスタートし、翌年に17名が発起人となり、会長に岩崎、顧問に山口弥一郎を迎えて設立された。

同会の前史としては、1935年に柳田国男の「日本民俗学講習会」に参加した当時磐城高等女学校教諭であった岩崎や山口と、石城郡北神谷の高木誠一を中心に、和田文夫も加わって結成された磐城民俗研究会がある。戦後休眠していたが、1962年に始まった『福島県史』編纂事業にそれらのメンバーが参加したことから、1964年に研究会を復活させ、『磐城民俗学研究会報』(1965.2)を創刊した。会則を持たず会費も徴収しない純粹な勉強会であったというのが、県内の自治体や教育委員会と連携して各地の民俗調査を行い、多くの業績を上げている。他にも、1970年設立の会津民俗研究会、また、伊達郡、信夫郡、安達郡の一部の阿武隈川下流域で県北と呼ばれる地域には、明治から大正にかけて信達民談研究会、昭和期に

は福島民俗研究会があり、1971年の福島民俗学研究会設立の前日には県北民俗研究会が組織されている。さらに、同年には福島民俗の会も設立され、『民俗福島』を発行している。

このような豊饒というべき研究風土の中で、福島県民俗学会は50年の歴史を刻んできた。岩崎の子息で現会長の岩崎真幸氏は、同会ホームページに寄せた「福島県民俗学会のこれから」(<https://fukushimafolklore.jimdofree.com/%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E7%B4%B9%E4%BB%8B-%E7%B5%84%E7%B9%94/>)で、「地域学会の活動は停滞しているといわれているが、日本民俗学を支えてきたのは地域の多様な研究者であり組織であった。地域に身を置いて調査研究を志す強みや魅力、その成果を積極的に発信することは、民俗学自体や周辺科学の活性化に寄与することでもある」と記している。コロナ禍で行事、祭礼は中止され、会務も休止を余儀なくされている。この困難を半世紀に及ぶ歴史の力で打破して欲しいと願うばかりである。

◆ふくしまの歴史と文化財 文字摺通信

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇15 2022.5 A4 4p

昭和34年3月に福島市文化財保護条例が制定された時 このような文化財が市指定の候補として挙げられていました。

紹介 勇猛和尚遺品(蓮光寺)

地域の小さな手作り博物館(2) 岡部・大壇歴史館

◇16 2022.5 A4 4p

阿保原地蔵を知りませんか？—長楽寺・福巖寺・松北団地阿保原児童遊び場

3月16日の震度6弱の地震で真浄院の徳川家ゆかりの多宝塔が被害を受けました

◇臨時増刊2 2022.5 A4 4p

大滝宿 山神様で供養祭礼—サキさん(89歳)から話を聞きました。
大滝宿の成立と現状と

◇17 2022.6 A4 4p

児塚(ちごづか)の白菊丸伝説を下地にした歌舞伎 シネマ歌舞伎『桜姫東文章(さくらひめあずまぶんしょう)』を観てきました
福島県お祭り総選挙(投票総数129万票余。昭和31年)

第一位は小浜の三匹獅子舞、

◇臨時増刊3 2022.6 A4 6p

十大祭選定投票最終結果判る きょう正式順位決定 四十日間の激闘

閉じる／順調なすべりこみ 残念だった相馬野馬追
『福島民報』昭和31年9月11日(火)付

郷土文化財顕彰 福島県十大祭礼選定

◇18 2022.6 A4 4p

青い目のお人形 私の帰るお家がなくなりました

高山樗牛は郡山の人ではなく、福島第一小学校卒業の方だったのですね。

栃 木 県

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1991年創刊

◇123 2022.4 A4 4p

《特集 栃木の近代文学》

明治中期小説に描かれた栃木

鈴木 啓子

栃木市立文学館の開館

石川 達也

栃木県歴史文化研究会第31回総会・大会のご案内

大会テーマ「ふるさと栃木再発見」(仮)

新刊紹介

柏村祐司著『下野の雷さまをめぐる民俗』

石川 雄也

北口英雄著『日光山の仮面』

深沢麻亜沙

大嶽浩良編『栃木の流行り病 伝染病 感染症』

作間 亮哉

群 馬 県

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 TEL027-226-6246

1993年創刊 <https://www.gunma-chiikibunka.jp>

◇58 2022.4 AB 36p 300円

《旧緑野郡 地域特集》

歴史を掘る 上植木の建長石仏

出浦 崇

ふるさとの木で家を建てる

平方 宏

第29回 石川薫記念地域文化賞 特別功労賞 唐澤太市／功労賞 水

田稔／研究賞 大島由起夫／奨励賞 森田真一

事務局

発掘情報 神流川左岸における古代遺跡の新知見

一牛田・川除地区遺跡群の発掘調査を中心に

文挾健太郎

ぐんまの歴史入門講座

第227講 原始・古代

ミヤケからコホリへー上毛野緑野屯倉の場合 関口 功一

第228講 中世 山内上杉氏と平井城 森田 真一

第229講 近世 近世の藤岡絹市と都市呉服問屋について 関口 荘右

第230講 近現代 高山社並びに高山社蚕学校の関係と意義 関口 覺

第231講 旧鬼石町の石造文化財 石造文化財の見方(47) 秋池 武

古文書解読入門講座(45)ー古文書から歴史を読む

黄金と綿を納めよー北条氏邦朱印状(飯塚家文書) 築瀬 大輔

史料紹介

養蚕改良高山社と競進社

ー二つの養蚕結社の相違、競進社から見た高山社について 野口 泰宣

緑野寺と最澄の来訪 松田 猛

ぐんまの人物誌 堀越二郎と航空設計 軽部 達也

史跡をめぐる 白石古墳群の保存と活用 齋藤 直樹

博物館・資料館訪問 藤岡歴史館 松澤 樹生

ぐんまの郷土芸能 平地神社の獅子舞 小林 敏夫

地域文化Q & A 鬼石には鬼の石があるのですか? / 神流川は神様が

流れた川ですか? / 藤岡の芦田城はなぜ取りつぶされたのですか?
関根 真理

研究・学習サークル活動紹介 高山社顕彰会 小林 敏夫

礫石経の世界(4)

「万座温泉源泉地納経」のこと一日進館旧本館敷地内と熊四郎岩窟 唐澤 至朗

上州の関所と番所(3) 空ヶ橋関所と榛名山周辺の番所 岡田 昭二

一枚の写真から 五料の舟橋(玉村町) 中島 直樹

ぐんまの自然と風土 桜山公園の冬桜 金澤 好一

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方 TEL027-265-3859 1989年創刊

◇101 2022.6 B5 8p

洪川市の地形と地名 中村 倫司

令和3年度事業報告・収支決算報告・収支予算 / 令和4年度事業計画

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<https://gunmabunka.org/wp/>

◇345 2022.4 A5 89p

令和3年度(2021)研究大会特集《シリーズ 上武国境地域の諸相》

vol.3 「城郭遺跡の歴史民俗学」

基調講演 築城と呪術—磐座・陰陽師・人柱 笹本 正治

研究報告

廃藩置県と近世城郭—地方における城郭処分と認識の変容 佐藤 有

城郭と怪異譚—謡曲禁忌を中心に 永島 大輝

地方キリスト教徒の多彩な活動—藤岡の大戸甚太郎とその妻きし 宮崎 俊弥

群馬の歴史的建造物(6) 産泰神社(前橋市) 森田万己子

新刊紹介

前澤和之著『上野国交替実録帳と古代社会』 小宮 俊久

今井昭彦著『近代日本と高崎陸軍埋葬地』 福田 博美

久保田順一著『戦国上野国衆事典』 飯森 康広

口絵 歌川国芳作「木曾街道六十九次之内 板鼻 御曹司牛若丸」

—群馬県立歴史博物館蔵品資料(146) 江原幸太郎

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇170 2022.6 B5 4p

記主の同時代認識の視点から

—シンポジウム「日記の歴史民俗学」を読んで 落合 延孝

第120回例会記事 新保稔氏「上杉領国の在地年中行事—越後色部氏

と上野長楽寺」(新保)、矢嶋正幸氏「文化三年 榛名山の社殿造営

は、如何になされたか」(矢嶋)

埼玉 県

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂11-1 さいたま市市民活動サポートセン

ター メールボックスB13 年3000円 1975年創刊

<https://saitama-chihoshi1952.blogspot.com>

◇84 2022.5 A5 64p

中世の「入間川宿」を復元する 佐川 美加

近世における幕府山林管理と植生遷移の実態

—武蔵国秩父郡大野村御林を事例に 吉田健一郎

青少年時代の加藤政之助—慶應義塾入塾までの軌跡 諏佐 成紀

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 Tel04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇239 (通546) 2022.5 A4 20p

追悼 柴田弘武顧問の郷土史研究に思う 岡本 和男

アルバム 柴田弘武さんと一緒に楽しんだ日々

柴田弘武さんを偲んで 中澤 雅夫

元会長・柴田弘武さんを悼む 荒井 茂男

元副会長・石井英朗さんを悼む 荒井 茂男

井上家文書研究部会 4月の活動報告 No.965「御用留」 清水千賀子

古文書解読日曜部会 4月度活動報告

「牛久騒動女化日記」 故高島眞一氏所蔵文書 古内 和巳

古文書火曜部会 4月度活動報告

「組合村々被仰渡御請証文并村々議定書写」 小熊家文書 飯塚 健児

歴史部会 3月の活動報告

「農業の古代史—百姓と自然との戦い」 報告者・池田隆信 池田 隆信

古代史研究会 4月度活動報告

我孫子市史の謎を解明する—一藤原部と意布郷について 星野 征朗

合同部会 4月の活動報告

(1) 延命寺の現地調査／(2) 網代場観音堂 山本 包介

◇240 (通547) 2022.6 A4 20p

歴史部会 6月の研究講座のご案内

「我孫子宿と助郷」—街道 宿場 助郷を巡って 茂木 勝己

我孫子の社寺を訪ねる(45) 布佐地区(5) 延命寺(布佐2318) 中澤 雅夫

歴史部会 4月の活動報告

古代東海道「於賦」の駅家を起点に相馬郡の官衙遺跡を考える 宗岡 恒雄

我孫子市史を読む会 5月度活動報告「我孫子市史を読む会を開催す

るにあたって」 「千葉県の歴史 下総国 近世編」ダイジェスト版、

「百姓たちの江戸時代 2009 渡辺尚志」ダイジェスト版 脇 明子

古代史研究会G 5月度活動報告 令和の奇跡 金塚古墳発 石枕・

短甲・埴輪を考える 報告者：中島正義

古文書解読日曜部会 5月度活動報告

「牛久騒動女化日記」 故高島眞一氏所蔵文書

山本 包介

古文書火曜部会 5月度活動報告

「組合村々被仰渡御請証文并村々議定書写」 小熊家文書

近松 義昭

歴史探訪部会 5月の活動報告

5月例会 探訪「我孫子市内の歴史遺産を巡る—その2」

長谷川秀也

井上家文書研究部会 5月の活動報告 No.976「御用留」

品田 制子

◆神田外語大学日本研究所紀要

〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 TEL043-273-1389

◇14 2022.3 A5 246p

幕長戦争・将軍空位期における中央政局と薩摩藩

町田 明広

Bushidō in Early English-Language Japanology: A Comparison between F.Brinkley's *Japan* and B.H.Chamberlain's *Things Japanese*

Alexandra MUSTĂŢEA

フランスス・プリンクリー著『陶磁芸術』における肥前磁器研究と柿

右衛門様式磁器の用語「乳白」

櫻庭 美咲

初代駐仏公使鯨島尚信の右大臣岩倉具視宛書簡について(上)

松田 清

『日本広東学習新語書』及び『明治三十八年 戸口調査用語(広東語)』

所収の符号仮名(4)

山村 敏江

日本語の自己卑下発話の連鎖

釜田友里江

国友一貫斎『気砲記』の佐藤信淵自筆書き入れ本

松田 清

日本研究所活動報告 Asian Philosophical Texts(3) 開催報告

ムスタツェア・アレクサンドラ

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中征志方 TEL043-489-7439

年2000円 2012年創刊

◇29 2022.4 A4 12p

新刊の紹介

多輪免喜(上)「佐倉をもっと知ろう」佐倉・内郷・根郷編 佐倉地名研究会
志津の地名について(18) 田中 征志

「ふなと」地名について

山部 紘

佐倉「本町」の地名の由来を考える

小川 眞資

臼井三町村について

伊藤 清

西志津の街づくり(1)

田辺タツ子

系図・系譜の真実を面白くみる
武士(1)
つぶやき「船戸大橋」

千々石 巖
瀬田貴久子
伊藤代々子

◆成田市史研究 成田市教育委員会

〒286-0017成田市赤坂1-1-3 成田市立図書館管理係市史編さん担当
Tel0476-27-2533 1972年創刊

◇46 2022.3 A4 41+55p

巻頭カラー 資料紹介 旗本小野次郎右衛門家の幕末明治
資料紹介

樋口 雄彦

三橋鷹女の「多麻」参加の経緯と新資料の紹介
出雲大社教七沢教会新築記念碑
麻賀多神社の明治維新

川名 大
島田 七夫
関 初弥

成田市史研究余話4

荒海貝塚の調査
榎浦江の架橋、初発期の下総板碑と丹治氏
渋沢栄一と成田

小川 和博
木村 修
矢嶋 毅之

再び町立成田実科高等学校の「学校日誌」を読む
新聞記事からみた成田市の地域的特色(2021年)

中村 政弘
石毛 一郎

資料目録紹介 水野家資料—水野葉舟関係資料目録
成田市史年表稿 2019(平成31・令和元)年
成田市関係新聞記事目録 2019(平成31・令和元)年

解説・矢嶋毅之

◆西上総文化会報

〒292-0833木更津市貝淵1-11-4 Tel0438-25-2003

◇82 2022.3 B5 120p

巻頭言 会報八十二号発刊にあたって

八田 英之

追悼 高崎繁雄先生 故高崎繁雄先生告別式に参列して
大宮寺の小宮山氏の墓(遺稿)

川俣 公男
村田 峯生

荻生徂徠と“南総の力”

河野 良恒

旧請西藩主林忠崇公自筆の「戊辰出陣記」を読む(4)終
請西藩士大野家について

諏訪 貞夫
上 総 行

小笠原諸島と嶋谷市左衛門、林子平、鍋島喜八郎の存在
木更津市請字北本郷 日枝神社棟札報告書

今輩倍みのり
林 健一

史料紹介 国勝神社「御本所被命御書付写」(慶応戊辰二月日)につい
て(2)

野崎 竜太

木更津市畔戸の男性からの聞き書き・主に一九五五年までのこと	麦野ゆたか
テレビが我が家にやってきた	川俣 公男
山口謠司著『日本語を作った男 上田万年とその時代』を読む	鬼形むつ子
移動研修レポートⅠ 市原方面を訪ねる(第672回例会)	藤平 俊雄
研究発表Ⅰ(第673回例会) 西上総の戦国時代	小高 春雄
研究発表Ⅱ(第677回例会)	
請西藩土檜山省吾の「慶応戊辰戦争日記」(奥羽編)	宮本 敬一
令和3年度西上総文化会 理事会報告	
コロナ禍の西上総文化会の活動	八田 英之
第671回例会 令和3年度定期総会・講演会	
第672回例会 移動研修会Ⅰ 市原方面を訪ねる	
第673回例会 研究発表会Ⅰ 西上総の戦国時代	
第674回例会 移動研修会Ⅱ(コロナ禍のため中止) 会津方面	
第675回例会 第七三回西上総文化展(コロナ禍のため中止)	
第676回例会 祝賀と忘年の会	
第677回例会 研究発表会Ⅱ 請西藩土檜山省吾の「慶応戊辰戦争日記」(奥羽編)	
第678回例会 移動研修会Ⅲ 西上総の近世・庶民の暮らしの旅	
歴史ミニ情報 とある古文書についてのエピソード 洪沢栄一の摩崖碑	
表紙写真 再建なった鹿野山神野寺の表門	

東京都

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局	
〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393	
◇650 2022.4 A4 4p	
芭蕉を想う 建部巢兆《瓢箪図自画賛》	加藤ゆずか
はい、文化財係です。番外編 足立遠元の生涯	佐藤 貴浩
◇651 2022.5 A4 4p	
ルドレフ・レーマンに出会う旅(1)一日比谷健次郎の京都滞在	郷土博物館(学芸員 多田文夫)
集められた庚申塔一庚申塔の旧在地	関口 崇史
◇652 2022.6 A4 4p	
大黒湯唐破風、安養院へ一銭湯遺産の継承	多田 文夫
あだち民具図典(13) 箕(上)	萩原ちとせ
はい、文化財係です。(35) 文化財の「指定」と「登録」	佐藤 貴浩

「じんがんなわ」の東京都指定／東京都指定記念動画

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇409 2022.4 A4 6p

令和4年度 足立史談会総会に向けて／春季区民教養講座 足立の文化遺産の保存と公開活用を開く 足立区地域のちから推進部地域文化課学芸員 佐藤貴浩氏

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (21)

編・堀川和夫

王子・飛鳥山探訪の報告

吉岡 諭

獅子座をめぐる謎(足立史談355号掲載)

唐沢 勝敏

松戸市戸定歴史館(戸定歴史館 松戸市より)

◇410 2022.5 A4 4p

矢沢幸一朗先生逝く

堀川 和夫

令和4年度の事業計画／区民研究発表会 発表者募集／足立拓本三〇年

春季区民教養講座「足立の文化遺産の公開活用を拓く」を聞いて 講

師：足立区地域のちから推進部地域文化財係学芸員 佐藤貴浩氏 相川謹之助
学童疎開展 学童疎開展が特別企画の開催

◇411 2022.6 A4 4p

夏季区民教養講座 鷗外と漢学師匠 佐藤元菫との関係について 講

師：安藤昌益と千住宿の関係を調べる会事務局長 矢内信悟氏

徳川昭武という人

松戸市観光協会

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (23)

編・堀川和夫

郷土博物館で学童疎開資料企画展 学童疎開はなぜ行われたか

旅日記 ①飯田お練り祭り、②諏訪大社四社巡り、③御柱祭り (唐沢)

鷗外は『千住新道碑』として撰文、推敲の跡 丙辰存稿(文京区立鷗外記念館所蔵)

◆板橋史談 板橋史談会

〒173-0015板橋区栄町24-12-203 井上富夫方 FAX03-3579-3178

1966年創刊 <https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home>

◇312 2022.5 B5 43p

表紙写真解説 常盤台に残る戦争の記憶と不戦の誓い 写真と文・井上富夫

ペットの供養・慰霊の歴史的展開～舟渡・東京家畜博愛院を視野に 松崎 憲三

城への誘い(3)	三原寿太郎
区政つれづれの記(8) 総務・選挙編(1)	松浦 勉
ひろば	
幻の二月例会にかえて	大木章一郎
板橋区内で見かけた昆虫で知る環境の変化	井上 富夫
戦前、戦時中の下町を思う	若林 清
総会資料	事務局
板橋文化財瓦版	
旧粕谷家住宅復元整備事業が終了	井上 富夫
渋沢栄一没後90周年献花式の開催	大澤 鷹邇
短報 板橋区立郷土資料館開催中の区政90周年記念展紹介	事務局

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇445 2022.5 B5 22p

多峯主山にて

奥武蔵の股旅作家と親分衆(1)―吾野宿再生と吾野を語る会

相楽高志／大河原義重

稚児岩

野口 実

マップモニター回顧

町田 尚夫

◆北区飛鳥山博物館研究報告

〒114-0002北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133 1999年創刊

◇24 2022.3 B5 87p

稲付村の地租改正資料―概要および若干の考察

榎本 龍治

北区内における中近世墓の一様相

高坂 勇佑

資料紹介

鎌田俊一氏寄贈「駅弁掛け紙コレクション」について

大久保輝優

株式会社佐藤製衡所製上皿棹秤

谷口 とし

スーパー「ほりぶん」チラシ資料

久保埜企美子

年 報

博物館の概要／博物館事業報告

文化財保護事業報告

令和3年度文化財調査・保護事業の概要と実績

報告 三上参次撰文「二本榎保存之碑」ができるまで―スポット

展示「栄一、西ヶ原一里塚に奔走す」から

田中葉子／山口隆太郎

令和3年度古文書調査報告(概報) 文責・田中葉子
 令和3年度民俗調査報告(概報) 文責・田中葉子
 令和3年度指定民俗文化財等の新型コロナウイルス対応について
 文責・山口隆太郎
 指定文化財一覧表(国・都・区)・台帳掲載文化財一覧(区)・文化
 財説明板一覧(平成4年3月現在)

◆北区史を考える会会報

〒114-0023北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TEL03-3917-8115 1986年創刊
 ◇143 2022.5 B5 8p
 第457回 月例見学会 川口市郷土資料館企画展「伊奈☆忠治」見学
 話し手・林健一／聞き手・有馬純雄
 第456回 月例研究会 四本木稲荷の清水稲荷～火薬製造の安全祈願 有馬 純雄
 折口信夫のみた「王子田楽」 伊藤 一美
 第455回 月例研究会 北区の軍用鉄道 黒川 徳男
 第458回 月例研究会 平井保昌の杉と御岳神社 榎本 龍治

◆月刊神田画報 カンダデザイン

〒101-0064千代田区神田猿樂町2-2 澤田ビル206 TEL03-3296-7121
 ◇171 2022.3 A4 4p
 三彩堂無斉著『神田明神の辺り』 明神下界隈のディープな考察
 編集協力：後藤禎久・鈴木正道 制作：武蔵野書院
 昔むかしの神田探訪(89) ここ掘れワンワン！ 酔馬 主水
 ◇173 2022.5 A4 4p
 神道・神社の信仰とその歴史「社殿建築について」 東京工業大学
 藤岡洋保名誉教授／三省堂神保町本店が小川町仮店舗に移転
 昔むかしの神田探訪(91) 車か伝統文化か、迷惑なのはどっち 酔馬 主水

◆現在学研究 現代学研究会

〒146-0091大田区鵜の木2-33-81 2018年創刊
 ◇9 2022.3 A5 184p
 特集 「害」の民俗学
 「害」という視座からの民俗学 及川 祥平
 祭礼の害としての「祭害」：コロナ後の祭礼に向けて 中里 亮平
 駅前広場の民俗学・試論：「迷惑」という感情と場所を視座に 真保 元
 ゴキブリをめぐる体験の語り 及川 祥平

楽害：「楽」は本当に「害」なのか	倉石 美都
身体障害者の日常生活に潜む害	高久 舞
「古い」は新鮮：「古い」と民俗学	倉石 忠彦
老 害	倉石あつ子
現代社会と自家採種：ある種子交換会の事例より	古家 晴美
現代ザシキワラシ考：福島県会津坂下町の松林閣の事例から	谷原 颯月
書 評	
倉石あつ子著『蚕を飼う女たち—養蚕習俗と起源神話』	篠原 徹
倉石忠彦著『道祖神伝承論・碑石形態論』	谷口 貢

◆交通史研究 交通史学会（発売：吉川弘文館）

〒161-8539新宿区中落合4-31-1 目白大学社会学部地域社会学科
鈴木章生研究室気付 1976年創刊 <http://www.kotsushi.org>

◇100 2022.4 A5 73+47p 2500円

創刊100号に寄せて	小風 秀雅
貞享元年における伝馬役負担の変化—東海道見付宿を事例に	佐藤 真木
両大戦間期における陸上貨物輸送変容の一側面—自動車の進出と東京	
鉄道局に始まる近距離小口貨物輸送の改善	森田 耕平
書評 小野寺淳・平井松午編『国絵図読解事典』	原 淳一郎
十字路 岩国徴古館所蔵史料を用いた朝鮮通信使迎接ネットワークの	
再検討	鴨頭 俊宏
2021年度第2回例会報告	常任委員会
近世中後期幕府廻船事業の諸問題	
—廻船御用達史料『苫屋・飯田家文書』の検討から	糸川 風太
日清・日露戦争期の軍事郵便制度とその実態	
—逓信管理の動向を中心に	望月 みわ
2021年度第3回例会報告	常任委員会
秋田藩における温泉運営と湯役銀	田口 志織
近世中期朝鮮通信使乗馬役と弘前藩津軽家	横山 恭子
常任委員会報告	常任委員会(文責・原淳一郎)
展覧会情報 新潟市歴史博物館の令和三年度収蔵品展「近世沼垂町」	
を見学して	石井 祐実
『交通史研究』主要記事総目録（第1号～第100号）	

◆史 叢 日本大学史学会

〒156-8550世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内

TEL03-3329-1151

◇106 2022.5 A5 82p

《日本古代史特集号》

特集にあたって

中村順昭氏略年譜・主要業績

中村順昭氏の地域社会研究と在地首長制論

堀川 徹

『出雲国風土記』における楯縫郡の位置付けに関する覚書

平野 卓治

古代東国の「丸子」氏とその性格

武廣 亮平

伊治城の基礎的考察

吉田修太郎

『入唐求法巡礼行記』に見る九世紀前半の新羅人の活動と張宝高

江草 宣友

小野篁冥官説話の成立について

佐藤沙耶花

九～十二世紀の臨時奉幣における諸源氏と石清水八幡宮との関係につ

いて

八馬 朱代

藤原道長の〈かち合わせ〉に関する再検討

柳 雄貴

「官司請負制論」を導き出したもの

—現代と対峙した歴史家、佐藤進一氏の軌跡から

黒滝 哲哉

◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要

〒195-0063町田市野津田町897 TEL042-734-4508 1987年創刊

◇35 2022.3 A5 112p

《特集 明治期の憲法構想・立憲構想 Part2》

国制知としてのドイツ国家学

瀧井 一博

第二院なき連邦：植木枝盛の立憲政体構想をめぐって

河野 有理

中江兆民における憲法構想の一側面

山田 博雄

調査報告 石阪清右衛門文書の来歴と構造

浅井 良亮

新刊紹介 江島香『柳川の歴史7 幕末維新と自由民権運動』

内山 一幸

2021年度第一回特別展「町田と江戸ーヒトとモノの交流史ー」の記録

講演録 近世多摩地域の百姓と江戸出府

千葉真由美

民権ネットワーク

山形県

升川 繁敏

福島県

渡辺 実

茨城県

飯塚 彬

千葉県

矢嶋 毅之

東京都

福井 淳

多摩地区

松崎 稔

神奈川県

野崎 昭雄

愛知県
高知県
福岡県
旧幕臣
田中正造
文学

中元 崇智
濱田 実侑
江島 香
樋口 雄彦
赤上 剛
松原 真

自由民権運動関係文献情報(35)

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948
年6000円 1993年創刊

◇117 2022.4 A4 6p

小机城の発掘調査より

最近の城郭ニュースから1 岐阜城 池田輝政期の石垣発見／鶴ヶ丘
城 馬出石積み出土／松本城 二の丸側杭列初出土／大館城 木杭
二八本が現存／真壁城 池の全体像判明

最近の城郭ニュースから2 初期伏見城 推定範囲外で石垣跡発見／
碓氷峠城 研究成果発表／名古屋城 石垣構築複数大名が協力か／
一乗谷城 空堀で新知見

目安箱

桜と城(平成18年第53号『城郭だより』西ヶ谷恭弘執筆を転載)
城と石仏・石塔

(平成23年第75号『城郭だより』西ヶ谷恭弘執筆を転載)

各地の城郭研究会の活動から 和歌山城郭調査研究会、日本古城友の
会、東海古城研究会、戦国と城を学ぶ会

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066世田谷区成城6-1-20 TEL03-3482-1181 1977年創刊

◇45 2022.3 A5 160p

ネットロアで語られる場所を巡る一考察

一いわゆる「洒落怖」の実態把握を通して

押見 皓介

資源観にみる暮らしと認識の変容一ヒガンバナの利活用を事例に
女性雑誌の民俗学的考察

川名 瑞希

一『それいゆ』購読者のライフヒストリーを事例に

廣江 咲奈

真正な非本来性一ハイデガーに抗しながらハイデガーと共に考える
民俗学におけるサードプレイス論の可能性

木下 聖三

真保 元

特別寄稿

ポストコロナル民俗学—博物館からのアプローチ

ヘルムチト・グロシュウイツ、クリスチャン・ゲーラット／及川祥平・訳
民俗学のアプローチとしてのポストコロナルズムとは？

—解題：「ポストコロナル民俗学—博物館からのアプローチ」

クリスチャン・ゲーラット

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇293 2022.5 A4 12p 400円

学童集団疎開—危機管理の一態様

真板 道夫

杉並の古文書を読む 幕末に出された命令書(1)

沖本一暁／安岡和子／清水信夫／岸上みち枝

杉並郷土史会へのお誘い(4)—歴史大好き女性〈歴女〉大募集

編集・波 巖

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇259 2022.6 B5 29p

村組の終焉—八王子市南大沢の講中の場合

佐藤 広

栃木市神明宮の相撲板番付と栃木山引退説

印出 隆之

軒下と無縁仏一家の内外(アマオチ)と無縁仏

井田 安雄

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2022-5 2022.5 A4 6p

本の紹介(区内図書館で貸し出し中です) わたしたちの都市河川 呑川 呑川の会発行／多摩川の筏流し その歴史と民俗 大田区郷土の会発行

6月講演会のお知らせ 演題『玉川全円耕地整理事業』—わがまちは、わが手で開拓を！

世田谷の民話(25) 上馬引沢 宗円寺 咳をとめるお婆様／

現在の民話のふるさと

作者・桜井正信

世田谷の民話(26) 下馬の大蛇騒動／現在の民話のふるさと

作者・桜井正信

◇2022-6 2022.6 A4 6p

5月行事報告 国分寺崖線史跡散歩 満願寺・玉川神社・九品仏
閻魔さまは、こわいよ

世田谷図書館で借りられる本 区史研究 世田谷 第2号 令和4年3

月30日発刊、松陰神社ものがたり 一坂太郎著

世田谷の民話(27) 十三塚物語／現在の民話のふるさと 作者・桜井正信

世田谷の民話(28) 大蔵石井の大館さまと駒王丸(木曾義仲)／現在の

民話のふるさと(大蔵合戦) 木曾義仲は世田谷生まれ? 作者・桜井正信

◆**戦国史研究** 戦国史研究会(発売:吉川弘文館)

1981年創刊 <http://www.sengokushi-kenkyukai.jp>

◇83 2022.2 A5 54p 682円

越後色部領における須貝氏の活動

新保 稔

最上義光と「庄内之儀」—豊臣政権の施策と方針

戸谷 穂高

備後金沢氏の素性について

伊藤 大貴

長宗我部氏・平島公方関係再考

嶋中 佳輝

戦国史関係論文目録(令和3年1月~6月)

例会記録 第487回、第488回、第489回、第490回、第491回、第492回

例会報告要旨

第487回例会 下間頼秀・頼盛と戦国期本願寺教団

岩本 潤一

第488回例会 美作国高田城主・三浦横須賀氏二三〇余年の動向

鈴木かほる

第489回例会

吉祥院の移転と吉田城の拡張及び改造—酒井忠次による整備

小林輝久彦

第490回例会 上杉景勝の家臣団編成

篠崎 祐介

第491回例会 武田信玄と信濃先方衆 麻績(青柳)清長

—「下之郷起請文」における麻績清長起請文の検討

深沢 修平

第492回例会 戦国期の朝廷合議と禁裏小番・伝奏

小堀 貴史

◆**千住の鷗外保存会会報**

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇36 2022.6 A4 4p

大正記念道碑の由来(中居町公園の移設の記念碑)

鷗外と千住 佐藤応渠(元菘)という技師を得た

平成四年「大正記念道碑」を整備した「考える会」のパンフレット／

森鷗外(文久2年 1862~大正11年 1922)

◆台東区立中央図書館 郷土・資料調査室報

〒111-8621 東京都台東区西浅草3-25-16 TEL03-5246-5911

<https://www.city.taito.lg.jp/index/library/>

◇12 2022.3 A4 4p

郷土・資料調査室の貴重資料を紹介するコーナー 書庫を繙く 没後
100年 饗庭篁村(1855-1922) 当世商人気質 明治23年(1890)刊
(再版)／絵はがき(帝都大洪水) 明治四十三年八月十二日 向島ド
テ下惨状／むら竹 第1集 明治22年刊／馬琴日記鈔 明治44年刊
／江戸現在広益諸家人名録 天保7年(1836)秋刊

郷土・資料調査室紹介 台東区立図書館デジタルアーカイブ

令和3年度の企画展 一枚の景色2 絵はがきでたどる明治・大正・
昭和／台東区の大名屋敷と大名庭園／絵本江戸土産～広重が描いた
台東区～／日記が語る台東区8 馬琴日記

令和2年度の企画展 開催中の企画展 塔／台東区の古代・中世／台
東区の寺(仮)／日記が語る台東区9 饗庭篁村と馬琴日記／台東
区の道(仮)

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogeinfo>

◇365 2022.4 A4 2p 100円

木魚講 木魚節

木魚講御詠歌2

◇366 2022.5 A4 2p 100円

米饅頭

鶴見に残る米饅頭

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatiken.web.fc2.com>

◇148 2022.5 B5 8p

第110回例会報告

日野市浅川沿岸西平山の用水・水車遺跡・燃糸工場跡を歩く 上野さだ子
研究ノート ああ勘違い二題

1. 固有名詞の聞き違い／2. 時間差の落とし穴 近辻 喜一
新刊紹介 須田努著『幕末社会』 梶原 勝

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<https://www.tamashin.or.jp>

◇186 2022.5 A5 102p

《特集 疫病退散》

江戸時代後期の立川周辺の疫病と医療

- | | |
|---|-------|
| 一鈴木平九郎「公私日記」を中心に
疫病(流行病)退散 | 長田 直子 |
| 一日野市域における文久二年の麻疹・コレラ大流行 | 矢口祥有里 |
| 八王子周辺村落の日記に見る疫病 | 加藤 典子 |
| 文久二年の記録に見る麻疹とコレラと俠客 | 原 祥 |
| ムサビの民俗資料からみる、かつての疫病 | 松本 美虹 |
| 洋風建築への誘い(75) 国分寺 そのころ(後編) | 伊藤 龍也 |
| 建物雑想記(70) 養蚕六間型民家 [のらや] 国分寺店 | 酒井 哲 |
| 多摩の金融史(20) 戦前多摩の資産家と金融機関 | |
| 一資産家名簿にみるその変遷 | 早川 大介 |
| 多摩の歴史を立体視!一赤色立体地図の風景(13) | |
| 中央線一直線と赤色立体地図 | 小野田 滋 |
| 本の紹介 | |
| 東京都江戸東京博物館編『東京に生きた縄文人』 | 宗像 義輝 |
| 武蔵村山市立歴史民俗資料館編『武蔵村山と鉄道一明治から令和ま
で』 | 北村 拓 |
| 調布飛行場の掩体壕を保存する会編『つばさに託して~武蔵野の森
公園の戦争遺跡が語り継ぐこと』 | 英 太郎 |

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548/
〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇154 2022.5 A4 6p

2022研究大会 発表講演 「銅づくりの歴史と近代化産業遺産」

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 産業遺産センター主任研究員 小野崎敏 | 文・写真 吉田修 |
| 文献紹介 『しぜん つくる あそぶ~サブロー雑記帳~』 | |
| 岡田三朗著 星湖舎 | 文・写真提供 奥原一三 |
| 産業遺産を訪ねて(26) 桑都日本遺産センター 八王子博物館 | 文・平井東幸 |
| ホームページを全面的に更新 | |

新刊紹介 向井浄『絵で見る さく岩機200年の系譜』 AIRE Design

出版

文・吉田修／写真・小野崎敏氏提供

茨城県ひたなか市の赤煉瓦建築物(1)

「那珂湊反射炉の煉瓦焼成窯跡」

文・写真 八木司郎

◆東京の文化財 東京都教育庁地域教育支援部管理課

〒160-0023新宿区西新宿2-8-1 TEL03-5320-6862 1979年創刊

◇130 2021.9 A4 8p

国立代々木競技場～新たな重要文化財

文化財を活かす(北区) 国指定史跡中里貝塚の保存と活用

文化財を活かす(東大和市) まちの歴史を語る資料―村山貯水池で古

レール発見

特別展「縄文2021―東京に生きた縄文人―」

「東京文化財ウィーク2021」について

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091

年2000円 1956年創刊

◇384 2022.4 A4 2p

江古田～小竹向原周辺の史跡巡り ①浅間神社、②聖恩山霊園・江古

田斎場、③おみたらし跡、④音大通り(松屋1号店・浅間湯)

葛城 明彦

高礼場 令和四年度総会及び三月例会

昭和史雑感 昭和天皇と将軍達(35) 東条英機(8)

鎌田 茂男

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 藤野裕子研究室

気付 1962年創刊

◇103 2022.5 B5 102p 1750円

特集 危機のなかの都市政治と民衆

特集にあたって

民衆史研究会委員会

大阪府下ダンスホール営業許可取消をめぐる抵抗と救済工作

寺澤 優

「無産」という政治文化―社会民衆党京都市会議員上田蟻善のレト

リック・パフォーマンス・メディア

杉本 弘幸

特集 民衆史研究の今までとこれから

古代史研究における民衆史研究の軌跡

亀谷 弘明

方法としての「民衆史」

一サバルタン研究と「交差性」概念を手がかりに 書評	藤野 裕子
榎原雅治著『地図で考える中世—交通と社会』	吉永 隆記
渡辺尚志編『相給村落からみた近世社会 続—上総国山辺郡土方村 の総合研究』	熊谷 光子
朴炳道著『近世日本の災害と宗教—呪術・終末・慰霊・象徴』	鈴木 淳世
高木まどか著『近世の遊郭と客—遊女評判記にみる作法と慣習』	関 千賀子
新刊紹介	
三舟隆之・馬場基編『古代の食を再現する みえてきた食事と生活 習慣病』	大谷万由子
岩本馨著『明暦の大火 「都市改造」という神話』	木下 開智
菅豊著『鷹將軍と鶴の味噌汁—江戸の鳥の美食学(ガストロノミー)』	宮内 啓太
会務記録 2021年度総会議案	民衆史研究会委員会

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒190-8520立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付

TEL042-590-0223 <http://www.s-jfm.org>

◇47 2022.3 B5 93p

現地調査録音テープの公開方法に関する考察

一沖縄民謡調査録音データベースから
徳島における「見せる阿波踊り」と「躍る阿波踊り」

金城厚／久万田晋

一「娯茶平」と「新町橋よいよい囃子」の対称的展開
小歌「おかざき」の変遷

川内 由子
加藤いつみ

実践報告

わらべうたを用いた多文化交流—保有者養成の授業を通して
〈第34回大会報告 「民俗音楽継承の未来—京都からつながる、京都に
つながる」(2021 京都)〉

八桁由布樹

基調講演 祇園囃子の誕生—風流拍子物から山鉦の囃子へ
シンポジウム 「民俗音楽継承の未来—京都からつながる、京都につな
がる」

植木 行宣
コーディネーター 入江宣子／

シンポジスト 福持昌之・増田雄・鈴木昌和・梁島章子

はじめに

入江 宣子

京都における民俗芸能の復活

福持 昌之

祇園囃子の伝播—上野天神祭を中心として

増田 雄

南観音山のお囃子の伝承について

鈴木 昌和

- 時代祭に新しく加えた風流踊り列の再現とその継承について 梁島 章子
 討論 文責・入江宣子
- 研究発表 要旨と質疑応答
 現地調査録音テープの公開方法—沖縄民謡データベースから
 金城厚・久万田晋／文責・小林幸男
- 音楽教育における「伝統」観の再考にむけて—ブータンの「ヘリテ
 ージ・エデュケーション」カリキュラム共同開発からみえてきた
 こと 黒田清子・伊野義博・権藤敦子／文責・加藤富美子
- 昭和初期に発売された長崎の芸妓によるレコードの曲目
 —「ぶらぶら節」を中心として2人の芸妓のレパートリーについて
 安原道子／文責・寺田真由美
- 小歌「おかざき」の変遷 加藤いつみ／文責・入江宣子
- 2021年度 日本民俗音楽学会活動報告

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 神田外国語大学 町田明広研究室
 2004年創刊 <http://www.ishinshi.jp/wordpress/>

◇21 2022.5 B5 156p

《第五〇回明治維新史学会創立四〇周年記念大会 特集号》

第一日目 学会四〇年の歩み—明治維新史学会の果たした役割

記念講演

- | | |
|----------------------------|-------|
| 学会の歩みの概要 | 木村 直也 |
| 四一周年を迎えたいま思うこと | 家近 良樹 |
| 戦後思想史のなかの歴史学—明治維新史研究を中心として | 佐々木寛司 |

第二日目 シンポジウム「近世史研究・近代史研究からみた明治維新」

趣旨説明 シンポジウム「近世史研究・近代史研究からみた明治維

新」開催にあたって 創立四〇周年記念大会準備委員会

研究報告

- | | |
|------------------|-------|
| 近世日本の政治理念とその変容 | |
| —「仁政」・「富国」理念を中心に | 小関悠一郎 |
| 東アジア近代史のなかの明治維新 | |
| —外国人の安全と自由から考える | 塩出 浩之 |
| 十九世紀史のなかの明治維新 | 羽賀 祥二 |

個別討論／全体討論

大会記録 第五〇回明治維新史学会創立四〇周年記念大会オンライ

ン開催の記録 創立四〇周年記念大会準備委員会

◆明治維新史学会だより

〒261-0014千葉市美浜区若草1-4-1 神田外国語大学 町田明広研究室
2004年創刊 <http://www.ishinshi.jp/wordpress/>

◇30 2022.5 B5 19p

大会報告要旨

幕末期地域社会における民衆教化と学問

一 早田伝之助と信達地方を中心として

青野 誠

戊辰戦争における仙台藩の藩情と軍事

栗原伸一郎

西南戦争における「確報」流通策

渡邊 桂子

自由民権期における地方政党と「無形結合」路線の形成

一 東北地方の動向を中心に

出水清之助

別荘を中心とした近代日本の政治家ネットワーク形成

一 品川弥二郎・京都尊攘堂人脈の研究

池田さなえ

小特集「コロナ下における大学教育」

コロナ下における大学教育

布施 賢治

コロナ期のオンライン講義

高山 慶子

コロナ下における能動的学修のために

小泉 雅弘

授業進化の階梯を急いで上る？

柏原 宏紀

例会報告要旨

明治日本に甦った「聖賢」—ある地方知識人の読書体験にみるナ

ポレオン像

崔 正訓

明治初年の立法府と華族

富谷竜一郎

◆洋学史通信 洋学史学会

〒182-8585調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報理工学研究所 佐藤
賢一研究室気付 TEL0424-43-5592 <https://yogakushi.jp.org>

◇36 2022.5 A4 16p

洋学史学会と私 洋学史学会会長の記—ある不始末の場合

大澤 眞澄

2022年度洋学史学会年間スケジュール

2021年度洋学史学会若手部会活動記録および2022年度スケジュール

(4月13日現在)

文責・堅田智子

新刊紹介

日本科学史学会編『科学史事典』

(青木)

片桐一男著『杉田玄白と江戸の蘭学塾』

(青木)

町泉寿郎『前近代の医家たちとその学び—日本近世医学史論考Ⅰ』

『幕府医学館と考証医学—日本近世医学史論考Ⅱ』

(青木)

- 長崎県埋蔵文化財センター調査報告書 第42集 長崎西役所跡 (青木)
 ベーター・パンツァー／沓澤宣賢／宮田奈奈編『1873年ウィーン万
 国博覧会一日奥からみた明治日本の姿』 (青木)
 鈴木則子『近世感染症の生活史－医療・情報・ジェンダー』 (青木)
 青木歳幸・W.ミヒェル編『天然痘との闘いⅡ－西日本の種痘』 (青木)
 富安廣次編『活版那波列翁傳初編』
 展示情報・図録・紀要等

神奈川 県

- ◆小田原史談 小田原史談会
 〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852
 年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>
- ◇269 2022.4 A4 32p
 北原白秋「雀の生活」をめぐる 荒河 純
 講演録 ポスターにみる戦後小田原の文化活動(上)
 令和3年11月22日「西さがみ文化フォーラム」第41回(UMECO)
 講師・星野和子
 鎌倉時代の小田原を巡る(4) 頼朝の乳母のいの莊園一早川荘 野村 朋弘
 「北条五代記」(8)
 応永より慶長迄関東合戦の次第の事／北條氏政東西南北と戦の事 勝 四郎
 片岡日記 大正編(2) 大正十年二月～五月 片岡永左衛門
- ◆かまくら女性史の会 Newsletter
 〒248-0012鎌倉市御成町18-10 N P Oセンター鎌倉気付 メールボックス26
 2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>
- ◇93 2022.4 A4 2p
 F☆L110 かまくらの保育－明治・大正－ 鎌倉保育園 高階志津江
 シリーズ：私たちの「戦争体験」(18) 第4話「疎開先から鎌倉へ」 曾原 糸子
 称名寺と金沢文庫見学会 (横松)
 「鎌倉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の一部を改正す
 る条例」の可決→否決 (曾原)
- ◇94 2022.5 A4 2p
 シェアハウスに暮らして 本多 順子
 シリーズ：私たちの「戦争体験」(19)
 第5話「敗戦後の食べ物の記憶」 曾原 糸子

報告 『横浜連合婦人会館史100年のバトンを受けとる』4冊謹呈／平塚女性史に学ぶ会と平塚市人権男女参画課共催のシンポジウム「女性の政治参加を進めるために」案内 (横松)

◇95 2022.6 A4 2p

かまぐらの保育一明治・大正一ハリス記念鎌倉幼稚園設立の経緯 横松佐智子
シリーズ：私たちの「戦争体験」(20)

第6話「鎌倉市立第一小学校へ」 曾原 糸子

図書紹介 『同志少女よ、敵を撃て』逢坂冬馬著、早川書房、2021年 (高階)
鎌倉市生涯学習センター条例の一部改正について (曾原)

◆郷土誌 葉山 葉山郷土史研究会

〒240-0112三浦郡葉山町堀内1874 葉山市立図書館内 葉山まちづくり協会
TEL046-876-0421 2004年創刊

◇16 2022.4 B5 109p 1000円

巻頭言 松元 岑生

特集1 葉山から「消えた」モノ・コト 寺社、高札、寺子屋・筆子塚、乗合馬車、土屋造船所、七桶島・七桶寺、三ヶ浦村の魚市場、長柄の馬頭観音塔、三家橋、源頼朝公御殿跡、平山ホテル、関東学院大学葉山セミナーハウス、グライダー練習場、流鏑馬神事、製塩遺跡、八店、上山口集会所、上山口火の見櫓と半鐘、上山口の道普請、木古庭ひょうたん池、木古庭集会場、鎌倉橋、元長柄の持ち分桜山大山区、三頭山、宝金山、仏塚山、旧葉山邸、慶応義塾体育会水泳寄宿舎、葉山観光館 編集委員会

特集2 葉山ゆかりの文学散歩—鐙摺・森戸・芝崎 鈴木雅子・編

葉山ゆかりの文学散歩1—鐙摺 徳富蘇峰、徳富蘆花、森谷定吉、泉鏡太郎(鏡花)、高濱虚子、永井路子、京極夏彦、高田喜佐、源実朝、三島由紀夫、石原慎太郎、角田秀雄、川上眉山、瀬戸内晴美(寂聴)、三角しづ、大杉栄、里見淳、三田村鳶魚、東理夫、夏樹静子、田中康夫、吉野万里子、高崎正風、桐島洋子、桐島龍太郎、小松左京

葉山ゆかりの文学散歩2—森戸・芝崎 鈴木三重吉、西東三鬼、高橋陸郎、喜多嶋隆、堀口大學、植田紗加栄、北山耕平、西巻茅子、團伊玖磨、三好徹、山本淳正、北杜夫、加賀乙彦、森みさ、横光利一、志賀直哉、吉田仁、森詠、山下洋輔、宮城道雄、奥成達、ながたはるみ

葉山で撮影された映画 藤波勝次郎

芦名浄楽寺運慶造仏の契機を生んだ性我と武蔵小野氏のネットワーク

ー浄楽寺諸仏成立の契機を考える

伊藤 一美

葉山の濁酒醸造(2)ー下山口 沼田義則氏所蔵文書より

長尾 五郎

葉山郷土研究会と私ー葉山の風土と歴史

寺山ルリ子

◆京浜歴科研年報 京浜歴史科学研究会

〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12 大湖賢一方 TEL045-825-3736

1987年創刊 <http://www.asukawa.com/rekika/r001r01.htm>

◇34 2022.2 B5 32p

巻頭言 多摩川の向こうのゴジラ

大湖 賢一

明治最初の条約交渉

ー日本とスウェーデン・ノルウェー条約締結の意義

塚越 俊志

史料翻刻 佐久間権蔵日記一大正7年1月～2月翻刻

伊東 富昭

◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二方 年1000円 1979年創刊

◇169 2022.5 B5 6p

連谷村よもやま話ー奥三河の山里から(1)

安藤 久夫

マッチ箱のデザイン展によせて

西海 賢二

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260

2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇43 2022.3 A4 12p

戦後の風景ー占領から復興へ

羽田 博昭

磯子貸家組合の設立

百瀬 敏夫

日中戦争下の国語教育ー平楽小学校の『国語科教授案』を中心に

金 耿昊

横浜における児童愛護デー

上田 由美

閲覧資料紹介 Mary A. Ruggieri, From Japan With Love, 2007

羽田 博昭

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告

〒254-0041平塚市浅間町12-41 TEL0463-33-5111 1977年創刊

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>

◇45 2022.3 A4 84p

2021年の流星観測と月面衝突閃光観測

藤井 大地

2021年の流星分科会の活動報告

藤井大地／天体観測会 流星分科会

2021年の太陽黒点
平塚市域における月待塔の再調査
みんなで調べよう「平塚のかたつむり」2019-2021

鷹宏道／塩田和生／岡澤智
塚田健／福田麻友子

平塚市博物館「みんなで調べよう」

戦争末期における平塚防空砲台とその役割
米軍のコロネット作戦に対する第53軍の本土防衛
一終戦時における平塚地区の部隊配置
報徳仕法の三浦郡への展開とその特質

工藤 洋三
市原 誠
早田 旅人

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内（事務局：西村健）

TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇93 2022.6 B5 4p

研究例会 2022年度総会・第121回例会 報告1 平野実乃里「首都
高速道路公団の運営と財務—1960～1980年代を中心に」、報告2
鈴木智行「戦間期東京における市街道路網計画と都市専門官僚制」
／次回の研究例会 第122回例会(予定) シンポジウム「“鉄道史”
展示の現状と課題—地域博物館の視点から(仮)」

情報ネットワーク 展示会情報！／新刊案内 茅ヶ崎市編『茅ヶ崎ゆ
かりの人物本』

小研究会の活動状況 首都圏災害史研究会、戦後首都圏研究会

◆治水神・禹王研究 治水神・禹王研究会

〒618-0091京都府大山崎町円明寺脇山1-131 植村善博方 年3000円

2014年創刊

◇9 2022.04 A4 89p 1364円

巻頭 徐福伝説地にまなび禹王遺跡の価値を普及しよう
「大禹謨」碑と西島八兵衛
『大禹文化学導論』（劉家思主編）

植村 善博
木下 晴一

第8章大禹文化遺跡（中国における禹王遺跡） 主編・劉家思／訳・竹内晶子
新発見の台湾「禹王廟」

一戦前、大陸側離島から伝来した禹王信仰
水文化史から見た洪水対策あれこれ

塩川太郎／林麗華
河野 忠

鹿児島県始良市の触田井堰記念碑の発見とその意義

山下幸太郎

静岡県東伊豆町大川、大川三島神社の禹神絵馬について

山田稔／植村善博

禹王遺跡レポート

前鳥(さきとり)神社の篆書体千字文屏風(相模川) 高見沢 周
 酒匂川伏越工事之銘(酒匂川) 関口 康弘
 智永真草千字文(篆額部なし)(笛吹川)／
 篆隸千字文(篆額部なし)(笛吹川) 河合荘司／関口康弘
 日本禹王遺跡一覧 日本禹王文字遺物一覧／日本禹王伝承地一覧

◆地名と風土 日本地名研究所

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館 4階
 TEL044-812-1106 1984年創刊 <http://chimei.people.co.jp>

◇15(復8) 2022.3 B5 206p 2000円

《記念 谷川健一誕生百年・日本地名研究所創設四十周年》

口絵 谷川健一関連／久高島ヒータチ・イザイホー(撮影・比嘉康雄)

／遠山霜月祭(下栗)(撮影・櫻井弘人)

文 澤井真代・川島健二

巻頭言 谷川健一は地名について何を語ったのか

一ニヒリズムの克服

金田 久璋

古層脈物語 序

谷川 ゆに

特集Ⅰ 谷川健一論の現在

父 谷川健一の人と学問―「小さき者の歴史」をめぐる

谷川 章雄

谷川民俗学の現代的意義―萃点としての地名の発見

金田 久璋

世界民俗学のなかの谷川健一

島村 恭則

複合する草荘神 アカマタクロマタ考

金子 遊

谷川健一と沖縄

川島 健二

谷川健一と〈スデル〉

杉本 仁

地名研究における小字名主義と谷川健一の事小主義

加藤 秀雄

『南島文学発生論』の視点―小さきものからの照射

澤井 真代

谷川健一の地名学

川島 秀一

関東地方の谷戸・谷津地名について―谷川健一先生に励まされて

井藤 一樹

谷川健一先生のアイヌ語地名論

児島 恭子

谷川健一と後藤藤一郎―並走する日本地名研究所と常民大学

小田 富英

編集者谷川健一の仕事・沖縄編

島村 幸一

太陽の族長 谷川健一

船曳 由美

負の前衛―谷川健一とその弟たち

前田 速夫

谷川健一未発表談話記録 私と宮古島

谷川健一／採録・解説

佐渡山安公

特集Ⅱ 谷川健一を語る

谷川健一先生との邂逅―未解の課題「栗」

野本 寛一

地名から古代を掘る

赤坂 憲雄

「日本地名研究所」誕生前夜	荒竹 清光
昔の人の袖の香ぞする	大江 修
私の中での谷川先生	太宰 幸子
私の知る「谷川健一」、徒然なるままに記す —多くの教示・助言を受け交流した	中葉 博文
鬼の遺言	原 義典
偉大な民俗学者 谷川健一先生を偲ぶ	説田 武紀
谷川地名の継承と研究	田中 弘倫
回想 谷川健一先生	相澤 一男
谷川健一先生と川崎地名研究会 —藤田親昌さんと相澤一男さんのこと	菊地 恒雄
コラム	
第四〇回全国地名研究者大会について	澤井 真代
『沖縄・辺境の時間と空間』を中心に	川島 健二
死者が支配する歴史—『魔の系譜』	久保田 宏
『神・人間・動物』—「民俗学」とトーテム幻想	高橋 治

◆日本の石仏 日本石仏協会（発売：青娥書房）

〒254-0031平塚市天沼7-59-305 TEL0466-24-0203 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇176 2022.5 A5 64p 2000円

表紙 お墓を守る虎石像 東京都大田区池上 本門寺 写真と文・長島 誠
特集 三十三観音Ⅱ

天草地域の江戸期の三十三観音像について	前川 清一
佐賀・多久の三十三観音	藤井 伸幸
宮城県女川町の三十三観音碑	榊田 大力
廻国行者の旅模様と平塚市の廻国塔	中森 勝之
丸石道祖神ノート(6)—丸石信仰の展開(4) 「丸石神」というもの	岡田 均
本邦石造物研究の歴史Ⅳ 昭和初期から終戦まで	嘉津山 清
石仏逍遙 『野の佛』再び—石仏古書逍遙の記	中野 高通
石幢探訪(1) 大分県豊肥地方と臼杵市の中世石幢	高野 幸司
石仏の風景(2) 「聰子観音」のこと	坂口 和子
誌上講座 石仏入門(30) 「日本石仏図典」補足・Ⅳ	門間 勇
会員の広場	
「石橋供養塔」についての情報を！	南川 光一
手持ちのライトで石仏を撮る	黄瀬 三朗

石仏談話室／石仏交流

- コラム 秋田・五城目町八幡神社の三十三観音 高橋 弥生
フォト・石仏アラカルト
猿三尊庚申塔(寛文5年) 東京都台東区西浅草の万隆寺 矢吹 嘉朗
閻魔王(明治30年)と地藏菩薩(明治31年)
横浜市都筑区池辺町2718 池辺杉山神社そば 前川 勲
第132回石仏見学会報告 蔵の町・川越の石仏 門間 勇
第四六回総会報告
日本石仏協会主催「石仏写真展2022」報告 長島 誠

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円

2003年創刊 <http://hikaenochou.world.coocan.jp/mysite1>

◇75 2022.4 A5 180p 500円

- あつという間の一年とは 前編 宮原 諄二
弥太郎の日光仕法とその時代 尾上 武
小田原・文学の小箱(5)～私のコレクションから 中河与一の遺墨 杉山 博久
酒匂だより 「ニュースに震える」 町田紀美子
松田の武士 松田氏を知るには(4) 遠藤 孝徳
佐世保の九十九島と黒島 下田 勝也
続々・ボクの映画館(4)
文句なしに面白い・黒澤映画『天国と地獄』 平倉 正
詩 立春 加藤 三朗
青春時空への回帰〈捜私漂白〉～吾が心の京都洛北 小濠 眞宝
諸々の思い出(5) 田中 豊
小説一幕末銀板写真倶楽部 ポトゲラヒ(8) 荒河 純
ある指物師のある日の一齣 芳賀喜久雄
小田原・伊豆を歩いた民俗学徒 木村博の足跡(中) 青木 良一
鉄斎の謎(1) 茂木 光春

◆藤沢市史研究 (続)藤沢市史編さん委員会

〒251-0054藤沢市朝日町12-6 藤沢市文書館 TEL0466-24-0171 1970年創刊

◇54 2022.3 A5 96p

- 藤沢の保育所・幼稚園の変化―子どもを社会で育てる 加藤 厚子
史料紹介 敗戦直後の藤沢市のマスタープラン
―湘南大都市計画と片瀬・江の島の開発 松本 洋幸

書評 (続)藤沢市史編さん委員会編集 藤沢市市制80周年記念『市民
が歩んだ80年―「藤沢らしさ」を求めて― (続)藤沢市史 別編4』

菅章／八田恵子／平山孝通

書評 小風秀雅著『幕末・明治、外国人の見た藤沢』(藤沢市史ブック
レット11)

吉良 芳恵

データベースガイド インターネットで歴史を楽しむ

加藤 厚子

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇649 (55-1) 2022.4 A5 24p 350円

備前市吉永町田倉牛神社の信仰と備前焼の牛

平松 典晃

二つの中世陵王面―鎌倉鶴岡八幡宮と六浦瀬戸神社 下

渡邊 浩貴

◇650 (55-2) 2022.5 A5 24p 350円

鬼門地蔵を考える―半田市亀崎地区の事例から

近石 哲

民具短信

奈良県大和郡山の金魚養殖道具

新海 拓郎

帝塚山大学附属博物館所蔵の女駕籠について

清水 智子

アチック・ミュージアムの民具コレクション(40)

樋畑雪湖の妻楊枝コレクション(7)

木村 裕樹

◇651 (55-3) 2022.6 A5 24p 350円

石打ち習俗の終焉―久万高原町上直瀬周辺の聞き取りをもとに

遠部 慎

民具短信

セキレイ(鶴鶴)の民俗とそれにまつわる物質文化

森 俊

近世末の流通経路がわかる膳箱

―紀州黒江村から相州浦賀湊・厚木村を経て寺尾村へ

小川 久治

アチック・ミュージアムの民具コレクション(41)

佐藤三次郎による収集民具

加藤 幸治

新潟県

◆郷土史燕 燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会

〒959-1262燕市水道町1-3-28 燕市教育委員会社会教育課文化振興係

TEL0256-63-7002 2008年創刊

◇15 2022.3 A5 259p

『郷土史燕 第15号』発刊に寄せて

大江 登

「真珠散」の広告と『東講商人鑑』(横軸の章)	
～「東講商人鑑」と「道中記」の歴史的意義～	
～進化を続けた道中記『五海道中細見独案内』～	
～近代医学発展の経済的基盤となった「真珠散」～	亀井 功
「道中記」(旅の案内)の進化の歴史(縦軸の章)	
～庶民の時代の到来：宝暦・天明期が画期点～	
～時代が育んだ道中記『五海道中細見独案内』～	亀井 功
良寛の名前について	本間 明
秋山郷を救った解良雄四郎	本間 明
村上藩地蔵堂組大庄屋富取家の系譜とその縁類	竹内 登
わが村の意地っ張り殿様一桑名藩・松平定敬公	平澤 陽一
大河津分水工事の索道(1)	前田 英文
古代越後平野の交通 馬と丸木舟	春日 真実
燕市の遺跡巡り(3)	
長所の遺跡一燕郷土史研究会活動の成果より	本間 敏則
史料紹介 五千石村平澤文書「寶永元年村々高合諸物成覚帳写本」	西海土寿郎
表紙の写真について 日本基督教団燕教会 国登録有形/建造物	

◆郷土新潟 新潟郷土史研究会

〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15 伊藤善允方 TEL025-266-3076
年4000円 1963年創刊

◇62 2022.3 A5 100p

表紙 (十辺舎一九)『越後新潟道中膝栗毛』中の内野砂山掘割之図

新潟県立文書館所蔵

巻頭言 新潟市文書館の開館を祝う	伊藤 善允
明治三年版『新潟県職員録』考	杉山 巖
「新潟湊に現れた異国船と関屋村」余滴	植村 敏秀
ミオラ伝説考(1) もうひとつの郷土史	村木 智弘
女学校か高校へー戦後の混乱の中で	岡村 澄子
回想・農村協同組合に関する一つの記録	
――一人は万人のために、万人は一人のために	吉田 幸二
小特集「昭和・平成一私の思い出③」	
昭和・平成一私の思い出	池上 祥子
玄関に水!!	大谷 晴夫
第十九回東京オリンピック (昭和三十九年)	古俣 康
卯年祭りの思い出	高橋邦比古

新大病院で経験した新潟地震	深澤 一彦
新潟文化“マンガ・アニメ・ジャズ”のルーツ	三村 哲弘
昭和のある思い出	若槻 昇
資料紹介 伊藤家『諸日記帳』(9)	伊藤 雅一

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇424 2022.4 A5 60p

年中行事の禁止と存続

一明治時代の新潟県内における盆踊り実施状況からの考察	山沢 拓見
家屋・住まいの民俗(後編)一新潟県の雁木、他県のことなど	佐藤 和彦
異彩を放つ長岡替女屋の妙音講	鈴木 昭英
「しょうしい」話ばかり一山霊・山人・山姥が棲むという	松本三喜夫
小報告	

八海山の雪形 金田 文男

春彼岸 金田 文男

表紙写真 白根大風合戦 昭和63年 撮影・文 金田文男

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会

〒940-0065長岡市坂之上町3-1-20 長岡市立中央図書館文書資料室内

TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊

◇59 2022.5 B5 247p

口絵 郷土の歴史資料紹介(8)「仲春偶書」小林虎三郎書(長岡市立中央図書館蔵)／長岡郷土史研究会の活動一令和三年度

馬高遺跡と長岡の石棒 越後長岡・火焰土器の話(8) 小熊 博史

阿倍臣(比羅夫)の遠征と大饗をめぐって

一伝説からみる古代の越後(下) 遠山 典子

魚野川の由来を探る(上) 中村 信行

上杉謙信(長尾景虎)建立の栃尾・常安寺と門察和尚

一『軍記』に惑わされた常安寺の歴史 石田 哲彌

越後真宗史研究への試み(後)一越後一揆の残響 井上 慶隆

四人の貞心尼 本間 明

黒鍬の者 小池左平次の由緒書 笹川 壽昭

「ながおか学」補説(5)一柿川の舟運を調べる 米山 忠彦

富島と文献に見る戊辰北越戦争の記事 続 山岸 利光

河井継之助の神話学(上)	土田 和弘
長岡藩家老河井継之助に対する私見	小泉 秀也
戊辰戦争から百五十年(5)	太田 修
小林虎三郎の『雪窓閑話』をひもとく(1)	小熊よしみ
山本有三の戯曲『米百俵』と山本周五郎の『ゆだん大敵』から常在戦場を考える	土田 明典
三島億三郎、その後の顕彰	
—「誰」が「どのように」取り上げてきたのか	湯本 泰隆
宮家と白峰駿馬	廣瀬 剛
杉本鉞子と槇家～新たに寄贈された貴重写真類と証言	青柳 保子
第六十九国立銀行史料『潰レ金控』にみる知られざる歴史の一面(下)	
	井辺 吉伸
桐谷洗鱗画業研究 志ざすところ(下)	深見 寶夫
内田三省雑録	内山 弘
渋沢栄一および梅浦精一と民間による電話事業計画	松本 和明
長岡大花火審査長・渡邊祐吉は語る	
—昭和初期における長岡花火事情	長谷川健一
斎川宏吉の学徒勤労働員時の日記と原稿「空襲の思い出」	金垣 孝二
昭和三十年回想の銀山平・奥只見・尾瀬ヶ原紀行	小片 莊平
図で見る昭和・長岡ニュー銀座ビルと長岡エメラルド劇場の変遷	長谷川浩一
地域探訪報告 醸造の町・撰田屋地区めぐり	西脇 恵一
開催報告 令和3年度 古文書解読講座	桜井奈穂子
資料紹介 令和3年度の長岡市委託事業から	
古志郡鼠島村庄屋中村家文書(刊本)について	林 朋子
古志郡鼠島村庄屋中村家文書(写本)について	樺澤 幸子
古志郡鼠島村庄屋中村家文書(洋装本)について	西 和美
古志郡蔵王権現領安禅寺文書の翻刻作業について	池田 茂
長岡郷土史研究会 令和三年年度会務報告	長谷川健一
郷土史の窓 (1)～(9)	

富 山 県

◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116高岡市伏木一宮1-11-11 高岡市民文化振興事業団

TEL0766-44-5511 1991年創刊 <http://www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/>

◇32 2022.3 A5 93p 1000円

「香島嶺の机の島」少考一附・「長浜の浦」の比定をめぐって	新谷 秀夫
敏馬浦作歌考	鈴木 崇大
少女漫画と万葉集(2)一戦後の万葉ブームの享受・受容のなかで	田中夏陽子
展示余滴 越中万葉の臨地研究をよみなおす	関 隆司

石 川 県

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館

〒920-0963金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236 1986年創刊

<http://ishikawa-rekihaku.jp>

◇137 2022.2 A4 8p

表紙 祭礼体感シアター

常設展示「いまこそ歴史博」 原始 注口土器 縄文時代 紀元前16世紀頃／古代 陶硯 平安時代 9～10世紀 白山市知気寺遺跡出土／中世 薬師如来坐像 鎌倉時代 1208(承元2)年 高爪神社(志賀町)／近世 前田利常書状つほね宛 江戸時代 [1614(慶長19)年]／近世 北前船模型 [小] 明治時代 20世紀／民俗 御座船型曳山 函額 江戸時代 1866(慶応2)年 秋葉神社(金沢市)／近代 写生帖(鈴木華邨旧蔵資料) 明治時代 1891-92(明治24～25)年

資料紹介 2021年新収蔵品紹介 関羽之図 納富介次郎筆／恋路浜より蛸島迄之惣図・三崎高勝寺高座山大宮司等惣図

野村 将之

学芸員コラム 松楓殿と北陸の工芸／「郷土工芸から世界工芸へ(六十年來の念願)」石川県立工芸高等学校七十年史より(小原喜三郎)

鶴野 俊哉

研究ノート 金沢歌舞伎最後の女役者

大井 理恵

◆加南地方史研究 加南地方史研究会

〒923-0903小松市丸の内公園町 小松市立博物館内 TEL0761-22-0714

1955年創刊 <http://kananchihoushi.com>

◇69 2022.3 B5 59p

小松旧記と酒井家文書を繋ぐもの—小松を旅した人々の実例から
小松旧記から視る近世小松町の洪水について
福井県北海道移住130年シンポジウム
芦城公園のアカマツに見る利常の婚姻・芸能文化政策
史料紹介の部

山前 圭佑

橋本 正準

池端 大二

村井奈緒子

那谷寺所蔵 文久四(元治元)年「御触并願書控」について

室山 孝

長野県

◆飯島陣屋だより 飯島町歴史民俗資料館

〒399-3702上伊那郡飯島町飯島2309-1 TEL0265-86-4212 1993年創刊

◇20 2022.3 A4 4p

「いいちゃん名所めぐり散歩+(プラス)」講座のご紹介 開講7年目を迎えました／飯島町歴史民俗資料館・飯島陣屋 開館日・時間短縮中です。

コロナ禍における飯島陣屋でのイベント 陣嶺館&陣屋無料開館／菊の花が咲く飯島陣屋でわら細工体験！／まゆ玉&書初めイベント
生涯学習センター講座 ふるさつを知る／中田切川テフラ観察会／はじめての古文書

れきみんかんプチとびっくす

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 TEL0265-22-8118 1990年創刊

<https://www.iida-museum.org>

◇32 2022.3 A4 150p

第三十二号に寄せて

滝沢 具幸

自由画教育以前の木下紫水

槇村 洋介

地域ゆかりの作家 菱田春草を対象とした鑑賞教育の実践 没後一一

〇年特別展「菱田春草一故郷につどう珠玉の名画一」における取り組み

加納向日葵

平安時代の伊那谷における顕密寺院の動向

一有力寺院の仏像群からみる

織田 顕行

飯田下伊那における牛痘法の導入時期について

近藤 大知

水戸浪士通行と飯田藩

青木 隆幸

松尾系小笠原家の三月十五日の祭祀と宝刀鶯丸友成について

鶴養 美冬

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇118 2022.6 A4 4p

ワークショップを開催します 「コロナ禍のなかから生存の歴史を問

う」問題提起：田中雅孝／書評会 本島和人著『満洲移民・青少年義勇軍の研究』 書評：原英章・上河内陽子・多田井一子・太田仙一

飯田市歴史研究所2022年度研究計画／「満洲移民」をテーマに第19回

飯田市地域史研究集会を開催します 講演：加藤陽子・本島和人
リレーミニエッセイ(24) 40年目の「ムトス」 安岡 健一
史料紹介 飯田「歌舞伎座」新史料発見！ 竹村 雄次

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1128 (70-5) 2022.5 A5 50p 550円

口絵 慈恩院・釈迦三尊像 織田 顕行
高森町の秋葉信仰調査報告(中) 鈴木 信孝
「墨ぬり」教科書 清水 迪夫
天竜川三十里の舟行実録 昔日の天龍峡探勝を中心として 鎌倉 貞男
今田の里の人形浄瑠璃芝居(3)一育て支えた今田の里と人々 大原千和喜
アジールとしての大河原・鹿塩 桐原 健

下伊那日録 2017(平成29年)6月～8月

◇1129 (70-6) 2022.6 A5 50p 550円

口絵 六十一年前の三六災害「小河川の被害状況」 橋都 正
令和三年度伊那谷研究団体協議会 第二四回シンポ 飯田文化遺産を
彩る人びと—菱田春草は生きている— (誌上シンポ) 中島 正韶
菱田春草の画風変遷—古画と写真の研究とその成果 小島 淳
菱田春草と北原痴山—『伊那名勝志』を中心として 鎌倉 貞男
『中学三年間で学ぶ菱田春草』—美術科鑑賞授業モデルを提案する 小島 敬介
飯田丘の上出身「菱田春草」画聖を顕彰する会
「春草会」七十五年のあゆみ 安静 達祐
吉田の産土神様を祀る吉田神社 手塚 勝昭

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

◇783 (66-4) 2022.4 A5 40p 600円

戸台分校物語(1)—へき地教育の到達点 岩崎 靖
安政国役御普請(7)
—御目論見・御見分中および御丁張・御仕立て中の諸入用 春日賢太郎
上伊那にきた農耕勤務隊(2)—戦争末期の朝鮮半島出身の「日本兵」

中央アルプス地名考(10) 空木岳 原英章／唐木達雄
 吉田 保晴
 古文書の窓(167) 飯田城下に御札が降った 小池 悟志
 図説・上伊那の民俗(57) 御射山神社御柱祭山出し(松川町上片桐) 三石 稔
 徒然さんば(33) 花桃の里 駒ヶ根市中沢 絵と文・吉田勝美
 ◇784 (66-5) 2022.5 A5 40p 600円

高遠藩と御柱大祭の騎馬行列 春日賢太郎
 古文書の楽しみ 天保の「竹島事件」 松澤英太郎
 片桐且元の出自・且元の正妻の出自と片桐氏の系譜 片桐 充昭
 上伊那に来た農耕勤務隊(3)一戦争末期の朝鮮半島出身の「日本兵」

原英章／唐木達雄

第9回井月忌の集い 井月忌俳句大会 春日利比古
 図説・上伊那の民俗(58) 鯉のぼり(飯島町石曾根) 三石 稔
 徒然さんば(34) 守屋貞治作 延命地藏菩薩 中川村片桐 絵と文・吉田勝美
 ◇785 (66-6) 2022.6 A5 40p 600円

《「森林整備」特集》

森林は誰のものか? 西村 智幸
 上伊那の植物(1) レンゲツツジ(ツツジ科) 伊藤 一幸
 伊那谷で森林整備をする 上杉 勝英
 「十二天の森を守る会」の活動 坂本 裕彦
 理想の森を目指す 米山 富和
 伊那西の平地林一市民の森 稲邊謙次郎
 河川内の樹木伐採について 大瀬木恵一
 中央アルプス地名考(11) 太田切川 吉田 保晴
 ため池の多面的機能をめぐる動向

一農業用水機能から災害対応・観光資源・演奏の場にも 山口 通之
 図説・上伊那の民俗(59)
 宮木諏訪神社御柱祭・迎撃の儀(辰野町伊那富宮木) 三石 稔
 徒然さんば(35) 臨濟宗臨照山 西岸寺 飯島町本郷 絵と文・吉田勝美

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇867 (74-4) 2022.4 A5 100p 1150円

第2回学生フレッシュ論文入選作発表

入賞論文 西海捕鯨業における鯨組と地域秩序

一近世後期平戸藩領小値賀浦を事例として	大淵菜音子
審査報告 第二回「学生フレッシュ懸賞論文」審査経緯	小松 芳郎
旗本諏訪氏百瀬知行所と松本藩における幕末の感染症対策	青木 教司
書評 塚本学著『生き物と食べ物の歴史』と『歴史・民俗・博物館』	郷道 哲章
報告	
信濃史学会地方史講座 公・文書館設置運動の推進について	小林 茂喜
第一〇六回セミナー 感染症と向き合う	山中さゆり
追悼文 山浦寿元会長	
山浦元会長を偲ぶ	後藤 芳孝
追悼 山浦寿先生—歴史を語り継ぐこと言葉の力を信じること	青木 隆幸
山浦寿先生を偲んで	原 良通

◇868 (74-5) 2022.5 A5 86p 1150円

《考古学特集号》

信州に忘れざる縄文土器

一伊那市羽広、安曇野市他谷遺跡出土土器の語り	三上 徹也
史跡恒川官衙遺跡の概要	下平 博行
水内郡衙について—長野市県町遺跡の発掘調査成果から	柴田 洋孝
おらあ百姓だでなあ—追悼・武藤雄六の考古学	高見 俊樹
安曇郡の古代を考える—明科から安曇郡をみる	原 明芳
地域情報 飯田市歴史研究所【歴史研究活動助成】案内	

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0834長野市問御所町1257-1 TEL070-4026-1252 年4000円 1964年創刊

<http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/>

◇320 2022.4 A5 97p 1200円

口絵 弘化4年(1847)の善光寺御開帳を描いた絵 『地震後世俗語之種』より／表紙 『地震後世俗語之種』

絵の描かれた県内各所の御柱	小林 一郎
平成28年・29年 中信の御柱	小林 玲子
江戸時代の古海村と紺屋富右衛門—諸用帳の分析	

中村敦子／信濃町古文書勉強会

関秀俳人 榎本星布	矢羽 勝幸
村上義清の話あれこれ(1)	志村 平治
長野市吉田の旧町名—吉田〇丁目〇番の旧町名は何だったか	小林竜太郎
読んで歩いた長野(7) 岡本綺堂「雪の一日」	栢木 希望
長野と全国各地の繋がりがり(17)	

伝承された願法寺(飯綱町)の文語体の絵解き 小林 玲子
出版 『長野県栄村誌 歴史編』『長野県栄村誌 自然編』、『信更町誌』、『大岡』(全3冊)
善光寺近郊の虎御前の遺跡(1) 長野市岩石町、長野市稲里町下氷鉤東野池、長野市上駒沢、長野市富竹東富竹／(2) 須坂市墨坂八幡宮、須坂市井上井上町、飯縄町芋川町組

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円
<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇289 2022.5 B5 12p

“夕鶴”の現在—「落日の民俗学」その後 倉石 忠彦
繭玉型道祖神の発生 三石 稔
北海道函館市における猿田彦大神碑(猿田彦塚)について 山本 泰照
第228回例会に参加して 市東 真一
第228回例会について 田澤 直人
例会へ初めて参加しました 小池ゆみ子
新刊紹介 市東真一著『祭礼における権威創造の民俗誌 旦那衆・町
鷹・若連』／安室知著『日本民俗分布論 民俗地図のリテラシー』

◆松本市史研究 松本市文書館紀要

松本市総務部行政管理課松本市文書館
〒390-1242松本市和田1058-2 TEL026-347-0040 1991年創刊

◇32 2022.3 B5 132p

開拓使 女子留學生の研究：三人の女性が近代日本の残した意味 山本なおみ
梓川下立田「西牧氏古系図」 百瀬 光信
伝えたい戦争体験 満蒙開拓を語る 三村 修一
歴史の窓 小松 芳郎
令和三年度松本市文書館の事業
松本市文書館講演会 第1回～第45回 索引／松本市文書館講座 第
1回～第228回 索引

静岡県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室

年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇524 2022.5 A4 4p

5月例会レジュメ 子どもが体験した敗戦と『満州引揚げ』

ー北村栄美さんを囲んで

平井 和子

ため息（「アンコール！おかしな絵本の世界 長新太が好き。今江祥
智・編」の紹介）

羽間 昭夫

◇525 2022.6 A4 4p

6月例会レジュメ 近江絹糸人権争議と富士宮工場

橋本 誠一

大杉栄らの墓とアール・デコ

小池 善之

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇242 2022.5 B5 4p

清水船手細井勝茂と阿波蜂須賀氏

小川 雄

例会告要旨

2月例会報告要旨

「三島宿の拝借金残高の増加と宿場町の維持について」

平林 研治

3月例会報告要旨 「牧氏事件の一考察」

森田 香司

4月例会報告要旨 「近世蒲原宿の支配代官一慶長元和期の蒲原代官

中野次郎右衛門を中心にー」

厚地 淳司

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇183 2022.5 A4 6p

令和4年度静岡県民俗学会 コロナ禍による社会の変化をどう捉える

中山 正典

漆掻き技術(3) 漆掻きの作業工程

多々良典秀

静岡の民俗語彙・方言短信

ミヤマシイ／カエッサ／サクイ

報告者・外立ますみ

◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061富士市伝法66-2 富士山かぐや姫ミュージアム内

TEL.0545-35-6250 1965年創刊

◇76 2022.4 B5 126p

表紙解説 宗清寺の笠被り地藏尊

加藤 昭夫

巻頭言(令和三年) 読書(歴史書)により自分探しの旅

加藤 昭夫

富士山南西麓における野溪からの焼砂押し出し被害について

—古文書が伝える江戸後期のようす

「鈴川の桃」づくりの今—親しまれてきたローカルフルーツ

「晴雨日記」から見る柚木村の御札降り騒動

原田中島水神堂湧水の今と昔

武田信玄の第一回駿河侵攻

旗本の陣屋Ⅰ～地方代官の動向

助郷触当と助郷会所の役割

日常生活の数字(9)

富士高剣道部の源流を辿って

武田勝頼滅亡時における富士地方の景況

会議(総会・理事会・事務局会議・各専門部等)の活動報告

伊藤 忠正

内田 昌宏

加藤 昭夫

楠 昌明

篠原巳津夫

高田 國義

渡辺 誠

渡邊 照好

若竹 秀信

和田 嘉夫

愛知県

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<http://www.atsutajingu.or.jp>

◇273 2022.3 A5 32p

献詠祭

南門クスノキの異常落葉の診断と対策(2)

創祀千九百年記念造営事業の回顧(30)

◇274 2022.5 A5 32p

熱田雑集 追加

創祀千九百年記念造営事業の回顧(31)

原野 幹義

小久保雅広

太田 正弘

小久保雅広

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<https://iwasebunko.jp>

◇72 2022.3 A4 4p

西尾市岩瀬文庫企画展「刀—書物からみる刀の魅力—」/次回予告

三河殉教記念会共催 特別展「三河大浜騒動150年—近代化の光と影—」

新刊のご案内 『新編西尾市史研究』第8号/西尾市資料館企画展「最新発掘調査成果展—にしおのこんなところを掘りました—」、講演会「発掘されたにしお2022—最新発掘調査成果展—」

蔵書紹介 山田家秘伝巻物(丑-1) 13軸 山田浅右衛門ほか著 江戸時代後期
 一色学びの館企画展「没後100年記念・神谷傳兵衛一生誕の地・西尾市一色一」/尾崎士郎記念館企画展「少年時代の尾崎士郎」
 表紙の写真 『刀剣図考 初編・二編』(2-18) 2冊 栗原信充著
 天保14(1843)年刊/表紙のカット 『本草図説』(45-11)より ねじあやめ 黄蝶・粉蝶(ツماغロキチョウ・モンシロチョウ) 高木春山著 嘉永5(1852)年 195冊

◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会

〒448-0852刈谷市住吉町4-1 刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000
 1980年創刊

◇43 2022.3 A5 111p

尾張藩士山下氏勝宛書状を読む	五十嵐正也
刈谷城から出土した棹秤の錘	伊藤 利和
資料紹介 名著寸描および随筆書のお咄し	
村上文庫 江戸時代の蔵書より	前川 芳久
太田少入と鳴海の庄屋下里知足「下里知足と刈谷の人々」	飯田 芳子
刈谷市域の私塾・寺子屋	加藤修/塚崎千歳
刈谷八景史(抄) 市原八景の発見と作者像	三ツ松 悟
森銃三・三郎の叔父と日露戦争	神谷磨利子
刈谷出雲守とはだれか—刈谷地名伝承の真実	鈴木 哲
市内研修会 泉田貝塚群と泉田古墳を訪ねて	矢田 直幸
県内研修会 織田信長誕生の地?宿場跡やイチョウの稲沢市を訪ねる	長唄 秀雄

二〇二一年度事業報告

表紙 (寛永三年)七月十日付山下氏勝宛京極忠高書状(刈谷市歴史博物館蔵「山下氏勝宛書状」所収)

◆新編西尾市史研究

〒445-0847西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局
 文化振興課 西尾市史編さん室 TEL0563-56-8711 2015年創刊

◇8 2022.3 A4 154p 700円

幡豆郡家の所在について	永井 邦仁
日本中世禅僧の塔銘—県文化財・願成寺蔵「円光禅師可庵和尚塔銘碑」 の分析 附載:可庵塔銘の翻刻・訓読・註釈	村瀬 貴則

八・九世紀の参河国司補任者の特徴と国政

一遣唐使・文人・医薬官人、祥瑞、豊前王 田島 公
資料紹介 幡豆郡寄近村高橋仙溪記録について一西尾藩の独礼医師 小林輝久彦
調査報告

枯木宮貝塚 昭和48年調査時出土の骨角製装身具類について 川添 和暁
愛知県と西尾市の採藻漁業の変遷

一特に緑藻アサオ類、褐藻サガラメと紅藻シキンノリの状況 阿知波英明
佐久島に分布する師崎層群日間賀層より産する生痕化石 山岡 雅俊
災害とくらし一西尾における災害碑等の悉皆調査より(承前) 伴野 義広
令和3年度の主な活動記録

『新編西尾市史 資料編3 近世1』刊行記念行事

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市区緑区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇619 (62-3) 2022.5 A4 8p 600円

表紙写真の言葉 九品仏浄真寺のお面かぶり

東京都世田谷区奥澤七丁目 5月5日 坂本 要
南西諸島の輪踊り(サークルダンシング) 1一鹿児島県 坂本 要

東海地区民俗学関係卒業論文・修士論文発表会 発表概要

「山の講」行事の現状一岐阜県中濃地域を中心に 福手 智範
刈谷市小垣江のオマント 鈴木 公貴

学会・研究会情報 民俗芸能学会 研究例会、『伊那民俗研究』『御柱
と諏訪信仰』特集、『日本民俗学』小特集「民俗学における多文化
共生一東アジアの十五夜行事から考える一」/民俗芸能情報 遠野
さくらまつり 夜神楽公演 民話の里に舞い降りる神々の舞

新刊紹介 蒲池勢至著『真宗と現代葬儀 「葬儀」と「死」のゆくえ』

三 重 県

◆皇學館史学 皇學館大学史学会

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 皇學館大学文学部国史学科研究室

TEL0596-22-6456 1986年創刊 <http://kokushi.kogakkan-u.ac.jp>

◇37 2022.3 A5 239p

『講談社の絵本 満洲見物』が伝える満洲メッセージ 長谷川 怜
元正天皇について一皇位「母娘継承」の歴史的意義 久保田涼哉

酒人内親王について一斎王の婚姻・仏教を中心に	池田 雅基
近世琉球における日系土族	具志 隆平
国学における「やまと心」解釈の変遷	服部 萌
日露戦争期におけるロシア軍捕虜への待遇 —名古屋捕虜収容所を中心に	村田 仁
史料紹介 香川志保子 欧州巡行日記(1) —明治二十年一月一日より同三月二十一日	梅田 優歩

◆皇學館大学研究開発推進センター紀要

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 TEL0596-22-6466 2015年創刊

<https://www.kogakkan-u.ac.jp>

◇8 2022.3 A4 263p

日本書紀研究小史—テキストと注釈の歴史	荊木美行／浦野綾子
別宮への幣帛奉獻について	塩川 哲朗
鈴木重胤の『日本書紀』研究の姿勢 —『日本書紀伝』自筆稿本に残された祭文の検討から	佐野 真人
神宮皇學館大學と「日本文化談義」—戦時期教学刷新事業の一断片	上久保 敏資

日本後紀史料(稿)番外編—『新訂・新撰姓氏録』第一～十巻 史料編纂所
神宮皇學館本科「平安ふみわけ衣」(明治三十四年)・「四年生修学
旅行日記」(明治三十八年)—神宮皇學館修学旅行日記・満鮮旅行
記(5) 皇學館大学研究開発推進センター

◆皇學館大学研究開発推進センター年報

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 TEL0596-22-6466 2015年創刊

<https://www.kogakkan-u.ac.jp>

◇8 2021.12 A4 69p

滋 賀 県

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇137 2022.6 A4 4p

企画展 彦根藩の足軽一歩兵たちの近世
御入部御覽留 当館蔵(購入資料)

展示案内 テーマ展 展示室1 軍記物語の世界—語り継がれる名場面、テーマ展 展示室1 能を彩る道具—小道具と作り物、企画展 展示室1・2 彦根藩の足軽—歩兵たちの近世

研究余録 金亀玉鶴 彦根藩による飛脚利用 竹内 光久

京 都 府

◆京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5491 2015年創刊

◇8 2022.3 A4 214p

第I部 地域の歴史と文化遺産の調査（京都府内）

宮津市由良地区文化遺産調査 報告会 岸 泰子

宮津市由良神社文書調査 吉富 絵音

「丹後国加佐郡由良村加藤長助家文書」（個人蔵・京都府立丹後郷土資料館寄託）の調査 藤本 仁文

夜久野末窯跡群の調査(2) 京都府立大学文学部考古学研究室

古墳を地域資源化する(2)

—湯舟坂2号墳プロジェクトの2021年 京都府立大学文学部考古学研究室

綾部市君尾山光明寺文化財総合調査 岸 泰子

舞鶴市木船家文書調査 長谷川巴南

京都府北部 ACTR 展示・「フィールドレポート」 長谷川巴南

「丹後ちりめんデジタルアーカイブ成果発表会」の記録

「丹後ちりめんアーカイブの構築」代表：小林啓治

京丹後市久美浜町太刀宮文書調査(2) 山田 洋一

久御山町大池神社文書調査 北原 美咲

芦田家文書の概要と地域史料の移動 滝澤 和湖

孝子芦田為助に関する褒賞・伝承

—芦田家文書「丹州孝子伝写」をもとに 鈴木 詩織

京都市木野愛宕神社の祭礼準備 鈴木 詩織

長岡京市の歴史文化調査 京都府立大学文学部地理学研究室

近代橋本遊郭の様相と楼主家族に関する報告

—聞き取り調査を中心に 高橋 日向

第II部 地域の歴史と文化遺産の調査（京都府外）

コロナ禍、文化遺産の普及啓発をめぐる

— YouTube 配信の現在とこれから 松葉 竜司

京都府立大学文学部考古学研究室における三次元計測

- 一現状と課題
- 神河町史の建造物調査 菱田哲郎／溝口泰久
岸 泰子
- 多可町の建造物調査 岸 泰子
- 岐阜市の鵜飼習俗調査 京都府立大学文学部地理学研究室
- 奈良県十津川村歴史資料調査 滝澤 和湖
- 古文書読解会と史料活用の実践・展望 滝澤 和湖
- 越前市三田村家・大瀧神社歴史資料調査 藤村 旭昂
- 熊本県天草市上田家文書調査 東 昇
- 天草の巡検探訪 竹内祥一郎／菱田哲郎
- 第三部 市史・町史編纂事業
- 京田辺市飯岡車塚古墳出土埴輪の再整理 吉永 健人
- 京田辺市興戸2号墳の石造品 二村 真司
- 京田辺市郷土塚4号墳出土遺物の再検討 諫早直人／池田野々花／守田悠
- 京田辺市畑山古墳群出土遺物の再検討 諫早直人／岡田大雄／山口繁生
- 京田辺市出土陶棺および関連資料 小林 楓
- 京田辺市域の古代瓦 溝口 泰久
- 京田辺市の建造物調査 岸 泰子
- 京田辺市茶生産者聞き取り調査 京都府立大学文学部地理学研究室
- 京田辺市史の文書調査 東 昇
- 和東町保管の石器について 川崎雄一郎
- 和東大杉の形象埴輪・須恵器提瓶の3Dスキャンと出力 初村 武寛
- 和東大杉の形象埴輪・須恵器提瓶の三次元写真計測結果 仲林篤史／溝口泰久
- 和東町坂尻古墳群の調査(2) 京都府立大学文学部考古学研究室
- 和東町における文化遺産の活用 尾野和広／菱田哲郎／土井悠起
- 和東町の建造物調査 岸 泰子
- 第四部 文化遺産学フィールド実習報告
- 滋賀県東近江市における文化遺産学フィールド実習について 東 昇
- 東近江市勝堂古墳群の再検討(1) 藤川聖起／大倉響稀／横白彩絵
- 東近江市伊庭の勧請吊・同年・在地 添田春香／武田知奈
- 東近江市伊庭の勧請吊の作成 長谷川巴南
- 東近江市山路上山神社と祭礼 渡邊 幸奈
- 表紙写真 仁王堂在地の勧請吊(滋賀県東近江市)

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇237 2022.4 B5 56p 1800円

祇園会山鉾調進と「町人」―「敷地役」と「失墜料」をめぐる 五島 邦治
戦国・安土桃山期の大坂・堺における都市祭礼

―天王寺土塔会を中心に 本多 健一
紹介

田鍬智志・上野正章・アンドレア ジョライ編『雅楽のイロイロを
科学する本』 (辻)

『北野大茶湯 天正から現代へ』 (西山)

『観世鏡之丞インタビュー 能を支えているもの―謡と囃子、間と
リズム、そして掛け声』 (三竿)

第六十回総会資料／2021年度 会誌内容／2021年度 大会・例会一覧
例会発表要旨

私と研究史 2021年12月例会 阪口 弘之

「演説」の再検討 2022年1月例会 寺田 詩麻

三条瀬戸物屋町に関する新史料 2022年2月例会 岡 佳子

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇924 (92-4) 2022.5 A5 32p 918円

「醍醐三宝院宝篋印塔」疑考(上)

重要文化財三宝院宝篋印塔の年代観について 加藤 繁生

抜き取られ移動させられた高野山町石五輪卒塔婆(上) 木下 浩良

画論研究3 『画筌』の研究―現代語訳付(2) 寺本 健三

第1093例会 寅年の新年を祝って嵐山方面へ 田中 康夫

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0883福知山市本堀1430 中村邦夫方 TEL0773-22-2737

◇815 2020.2 B5 4p

令和2年度総会報告

歴史街道余話 歴史街道部 芦田 精一

◇816 2020.3 B5 6p

猪崎どんの墓 梅垣 秀基

小畑城・綾部市 会 報 部

大江町波美の三宮神社等の小像について 大槻 伸

絶滅危惧樹木(植物)(1) シュロ 会 報 部

- ◇817 2020.4 B5 8p
千歳山観音の由来とそれを紙芝居にする試み 芦田 八郎
千歳山お守り観音 絵と文・尾松克巳
千歳山観音ロードマップ 1番・来迎院、24番・中山寺、33番・善光寺
- ◇818 2020.5 B5 4p
大江山登山の基地 大江町・内宮の「かめや旅館」について 岡垣 清己
絶滅危惧樹木(植物)(2) トクサ 会 報 部
- ◇819 2020.6 B5 4p
猪崎城址をめぐる。「鯖大師」のことなど 大谷 勇
猪崎城址について 会 報 部
絶滅危惧樹木(植物)(3) ハラン(バラシ) 会 報 部
- ◇820 2020.7 B5 4p
追悼 山口正世司先生 藤田 薫二
コラム 光秀の地子免除 大槻 伸
- ◇821 2020.8 B5 6p
『乙夜之書物』について 参考 中村 邦夫
『乙夜之書物』について 田村 亘
- ◇822 2020.9 B5 6p
福知山ラジオ寸史 中村 邦夫
ラジオ寸史参考地図
- ◇823 2020.10 B5 4p
ふるさとの歴史をさぐる(4) 鬼嶽稻荷とその周辺 村上 政市
福知山音頭いろいろ お国ことば／ご当地ソング① 尾松 克巳

◆地名探究 京都地名研究会

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2003年創刊 <https://kyotochimei.wixsite.com/kyotochimie/>

- ◇20 2022.3 A4 245p
《創立20周年記念特別号Ⅱ》
- 巻頭言 アマビエはどこへ? 小寺 慶昭
巨椋神社と惟喬親王伝承 小寺 慶昭
「まきのをやま」考—宇治川左岸か右岸か 笹川 博司
『古事記』歌謡「この蟹や」に描かれた女性像
一宮主矢河枝比売は美女か醜女か 沖村 由香
いわゆる新選組「不動堂村」屯所の位置と規模 新出 高久
當町尾張殿近衛殿下敷—近衛家別邸「御花畑」前身屋敷 原田 良子

「福知山」地名考—『国阿上人絵伝』の「福知山」をどうみる	糸井 通浩
「郡家の西北の隅の方に比治里あり」を検証する	小牧誠一郎
消えた丹後の地名「熊野」をめぐって	奥田 真人
近江ササキの地名由来について	小西 宏之
桓武天皇の遊獵の場に関する記録	岩田 貢
記録 入会案内／京都地名研究会会則／令和3年度活動報告／令和3 年度会員一覧／原稿募集要項／表表紙・裏表紙写真募集要項	
京都地名研究会20年記念特集Ⅱ	
『地名探究』表表紙・裏表紙 創刊号～第20号の変遷と解説	金坂 清則
記念随筆集 テーマ「私の好きな地名・ゆかりの地名・気になる地名」	
特別寄稿 間人と太秦	鎌田基(片岡嶋之丞)
池田末則先生追懐	植村 正純
鴨長明生誕地の地名—山城國愛宕郡田中村字河崎について	新木 直人
「西ノ京」のこと	井上 満郎
衣笠・その昔	竹内崑代子
太秦面影町	飯沼 憲子
「大峯凶子町」の皇太后妍子墓の伝承について	野村 倫子
白雲村のこと	入江 成治
後院通り(中京区)	尾崎聖二郎
西九条蔵王町	清水 弘
私の気になる町名(地名)の読み	龍口 明生
旧京都府葛野郡西七条の字名と京都市下京区西七条の町名につい て	梅谷 繁樹
地(町)名は住民が命名—誇りをもって子孫へ継承	小西 宏之
築山村の神々と菱妻神社—古文書を読み解く	植松 迪夫
伏見における「町裏」と「大字設置状況」	吉田 勝
紀伊郡・淀・納所のおもしろスポット	酒井 源弘
乙訓郡長岡町神足	小寺 慶昭
木幡と五ヶ庄(宇治市)	浅田 勝之
地名研究と枕詞—あるいは、地名「宇治」「木幡」考	糸井 通浩
「安堵山」と「贅野池」(井手町多賀)	岩田 貢
「椿井」地名について	中島 正
木津川南山城村域の詩趣	小西 亘
謎の地名 「加悦」	北風 康雄
私の故郷 弥栄町木橋の地名	吉岡 隆則
『浅茂川考』—鴨長明が記した「浅茂川の明神」について	三浦 到

神武天皇が熊野を迂回したのはなぜか	
—熊野のルーツは丹後である	伴 とし子
聖徳太子とコマチ小字名をめぐって	明川 忠夫
甲賀の地名「かふか」から「こうか」へ	
—日本語学の観点から考える	柿木 重宜
地名『ツケ』に拘った話	西崎 亨
香具山・三輪山・三笠山—大和人の世迷い言	堀田 悟史
私の好きな村・十津川村	石原 滝子
池田市の地名	亀井はるみ
「千早」は超強力パワースポット	杉本 重雄
気になる地名 「馬場」はババカバンバカ	小川 良太
磯を航る地名「結」考	伊郷 好文
古代国家の国号考	石田 天祐
『万葉集』に歌われた「味真野」の語源について	大野上 勉
ゆかしき地名「子恋の森」	高重 久美
「総理大臣官邸敷地の沿革」標識に思うこと	小牧誠一郎
小笠原諸島とメグロ	舞鶴 祥三
気になる地名 八十島について	安田 肇
私が辿った地名の思い出	安藤 信策
日本の誤字誤読地名—日本の毛筆文化と日本語	山口 均
どんぐりの地名	沖村 由香
高福と高棟—三井家の偉人が創った京都の2つの別邸と望楼をめぐる随想	金坂 清則
訃報 水田良茂氏	

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL.0724-28-0204

年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇412 2022.4 B5 12p

権現社(信達神社)神主矢野守光について

下村 欣司

史料紹介 山本家文書 流行性感冒予防心得

井田 寿邦

現代語訳「食家と佐野と海」(20)

二山 和美

訂正 佐野と油屋藤兵衛家の成立(上)の部分

(井田)

◇413 2022.5 B5 12p

十河一存一族・「十河左介」盛重の動向 嶋中 佳輝
史料紹介 山本家文書 相撲紙番付 北山 理
現代語訳「食家と佐野と海」(21) 二山 和美
史料紹介 泉州の地誌(15)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(15)

◇414 2022.6 B5 12p

石川康輝(数正)と和泉国 廣田 浩治
土地台帳にみる土地利用(14・最終回) 鶴原／おわりに 井田 寿邦
現代語訳「食家と佐野と海」(22) 二山 和美
史料紹介 泉州の寺社(13) 藤田家文書「岡部数馬領内寺社改帳」(2)

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇449 (39-3) 2022.3 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(69) 住吉大社 和久 敦也
令和4年2月例会報告(第411回)
『双六』大阪歴史懇談会理事 和久敦也氏 (報告・磯崎)

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『和泉式部日記』を越えて』岡田貴憲 勉誠出版、『和泉式部 和歌と生活』伊藤博 笠間書房、『和泉式部』人と文学』武田早苗 勉誠出版、『和泉式部幻想』杵掛良彦 岩波書店

◇450 (39-4) 2022.4 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(70) 住吉大社(2) 和久 敦也
令和4年3月例会報告(第412回) 『古代における境界線』一萬葉集を中心に 大阪大谷大学文学部准教授 竹本晃氏 (報告・和久)
ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『光明皇后御傳』(改訂増補版) 宗教法人光明宗法華寺 吉川弘文館、『光明皇后』一平城京にかけた夢と祈り—(中公新書) 瀧浪貞子 中央公論社、『光明皇后』(人物叢書) 林陸朗 吉川弘文館、『光明皇后・空海・最澄集』(日本の名筆選36) 二玄社

◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032河内長野市栄町21-11 椋本進方 TEL0721-52-3394 年3000円
1979年創刊

◇64 2022.5 B5 43p

巻頭言	椋本 進
楠木正儀と伊賀局、そして一休宗純について—『太平記』を中心に	川中ひとみ
A I (エーアイ・人工知能) 考	浅井 五郎
「錦溪苑だより」連載コラム集録	椋本 進
『河内屋年代記』に記された西国三十三度満願供養法事	玉城 幸男
瀛車賃・大割引について(高野登山鐵道)	
—明治42年8月15日より9月15日まで	松本弘(裕之)
令和三年度 事業報告	文責・椋本進

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇870 2022.5 A4 8p 300円

大阪市中央公会堂—建築的な意義について

川島 智生

堀川でたどる大坂城下町の成立

大澤 研一

◇871 2022.6 A4 8p 300円

京都の巨大仏堂をめぐる

矢ヶ崎善太郎

近江湖南の精神文化

佐藤 聖聖

◆堺研究 堺市立中央図書館

〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1 堺市立中央図書館総務課図書館サービス係

TEL072-244-3811

◇44 2022.3 A5 110p 550円

表紙解説 引札 小走商店 堺市立中央図書館所蔵

寺子屋清光堂の自筆往来物について(続編、その二)

—堺市博物館保管「清学院文書」から

和田 充弘

堺近世の産業構造と生業・衣食住

吉田 豊

史料紹介 堺県布達について(1)

大久保雅央

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojoyo-tomonokai.com>

◇640 2022.4 B5 24p

伊賀 丸山城・上野城を訪ねる(5月・第703回例会) 今回の見どころ

香川県の城跡を訪ねて(2) 小豆島の星ヶ城

坂本 昇

規制された天空の城竹田城見学

水品 弘樹

別冊(B4 6頁) 第702回例会

播磨 龍野城・熊野古城を訪ねる 担当幹事:小川実・下岡力

◇641 2022.5 B5 28p

撰津 滝山城を訪ねる(6月・第704回例会) 今回の見どころ

4月第702回例会の報告

播磨龍野城・熊野古城を訪ねる 担当幹事:小川実・下岡力 報告・下岡 力

香川県の城跡を訪ねて(3) 小豆島石切丁場 坂本 昇

別冊(B4 6頁) 第703回例会 伊賀丸山城・伊賀上野城を訪ねる

担当幹事:下岡力・平岡大輔

◇642 2022.6 B5 26p

大和 柳生城・柳生陣屋を訪ねる(7月・第705回例会)

今回の見どころ

5月第703回例会の報告

伊賀丸山城・上野城 担当幹事:下岡力・平岡大輔 報告・下岡 力

和歌山県の要害山城を訪ねて 坂本 昇

別冊(B4 6頁) 第704回例会 撰津 滝山城を訪ねる

担当幹事:岸本征剛・藤岡秀典

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇407 2022.5 B5 8p

『日本書紀』の思想と天皇 水谷 千秋

読書室 『五世紀の倭と東アジア』シンポジウム記録集

(堺市博物館 690円)

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科

古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇291 2022.4 A5 87p 900円

金剛王院の醍醐寺座主輩出と世俗権力 佐藤亜莉華

わたしたちの文化財 大阪府島本町 越谷遺跡御所池園池状遺構 前川 佳代

地域の歴史を守り伝える 「稲岡工業株式会社文書」保存会の活動 増田 行雄

書評 木村拓著『朝鮮王朝の倭国的立場と外交』 中村 翼

報告

2022年博物館法改正への道程と論点 佐久間大輔

叡福寺北古墳(現聖徳太子墓)の調査見学	北山 峰生
白髪山古墳(現清寧天皇陵)の立入り観察	北山 峰生
第56回「建国記念の日」不承認二・一―大阪府民のつどいについて	江坂 正太
委員会報告 第5回・第6回	吉武 直哉

◆昔話 研究と資料 日本昔話学会

〒573-1001枚方市中宮東之町16-1 関西外国語大学短期大学部
阿部奈南研究室

◇49 2022.3 A5 119p

巻頭のことば 「不思議」の言語化
講 演 阿部 奈南

幕末の日記と口承文芸―怪異をめぐる世間話
「語り」の記録と聴き取りの記憶 常光 徹

―「絵姿女房」/「蛇と蜂の巣」・「墓と蛇」 田中 螢一

松谷みよ子「山んばの錦」の成立について 来栖 史江

中国南部の剣の英雄伝説 立石 展大

シンポジウム

シンポジウム「昔話 声の記憶と表現」の意義
語りをつなぐ「声とことば」 真下 厚

ストーリーテリングと昔話―「現代の語り手」と「伝承の語り手」
「言い手」と「問い手」との力学 埴岡 真弓

―「言い手」中心に立てられてきた「ムカシ」論を転回する 高木 史人

資料 富山県下新川郡朝日町・入善町の昔話(補遺) 松本孝三/真下厚

兵 庫 県

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会

〒671-1332たつの市御津町室津457 たつの市立室津海駅館内 〒079-324-0595
年3000円 1997年創刊 <http://www.maple.or.jp/~shimaya/>

◇31 2022.5 B5 43p

誌上ギャラリー 「Exchange 2008」 水田 勢二

誌上インタビュー 建築を語る 藤森 照信

特集 建築探偵

龍野の建築と絵図を楽しむ 大場 修

建築を楽しむ―日常の中に開いた扉 倉方 俊輔

姫路の城下町と建築	志賀 咲穂
室津の伝統的建物について	柏山 泰訓
漂流地方史5 『高田屋嘉兵衛』(上)	三木 敏明
博物館遊歩(31) 竹中大工道具館	柏山 泰訓
町並み探訪(30) 下関～赤間関と長府の町並み(山口県下関市)	八木 雅夫
アボシ、そしてハリマ(1) 網干繁栄の始まり	菅野 稔博
広告世相視 メルカリ	一言居士

◆生活文化史 史料館だより 神戸深江生活文化史料館

〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7 TEL078-453-4980

1981年創刊 <http://fukae-museum.la.coocan.jp>

◇50 2022.3 B5 32p

よみがえった「深江音頭」	深江音頭復活プロジェクトチーム
深江物語(12) 正寿寺と大日神社	森口 健一
本庄の支配示す豊臣秀吉文書	竹本 敬市
深江の心象風景(2) 深江の町並みと岡田家	岡田 茂義
史料館この一年を振り返って	大国 正美
図書貸出サービスが最多更新	文責・大国正美

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇88 2022.7 B5 8p

入浜塩田の成立過程と荒井浜	落合 功
島義武の神職歴を『兵庫神祇』に見る	廣瀬 明正

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇649 2022.4 B5 8p

五月行事 文化講演会 「西宮」保存箱・玉手箱 思い出話の集い五「西宮とスポーツあれこれ」 講師：西宮市総務課公文書・歴史資料チーム 豊田みか氏	
『西宮大神本紀絵巻』復元裏話(4)「海路神幸」	土井久美子
浮世絵版画―西宮の風景あれこれ(4) 西宮市西田公園 桜	布広 良雄
二月行事 文化講演会「絵図で見る尼崎城」 尼崎市立歴史博物館学芸員 室谷公一先生、大いに語る	江崎健一郎

全国「西宮」調査—西宮市市制一〇〇年記念事業
会員活動報告 『関西吹奏楽功労者の碑』 建立に寄せて 中村宏／山本純子
◇650 2022.5 B5 10p

六月行事 ワークショップ『宝船の豆本』を作ってみよう

講師：グラフィックデザイナー 藤沢和幸氏

令和三年度 事業報告／令和四年度 事業計画／令和四年度役員
『西宮大神本紀絵巻』復元裏話(五)「和田岬神幸」 土井久美子
浮世絵版画—西宮の風景あれこれ(5) 神戸市垂水区 五色塚古墳 布広 良雄
西宮の万葉風景だより(3) 武庫川女子大学 岡本三千代

三月行事 文化講演会「世界が見た街頭紙芝居展」を開催

会員活動報告 『関西吹奏楽功労者の碑』 建立に寄せて(2) 中村宏／山本純子
◇651 2022.6 B5 8p

七月行事 見学会 ぶらり阪神競馬場 案内人：堀内陽光

文楽『釣女』観劇の葉 森村 暁子

浮世絵版画—西宮の風景あれこれ(6) 西宮市 旧甲子園ホテル 布広 良雄

四月行事 記念講演会「水と近世西宮の歴史」 西宮文化協会顧問

山下忠男先生、大いに語る 江崎健一郎

会員活動報告 『手作り甲冑展示会』(西宮神社資料室) 中村宏／山本純子

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇351 (61-2) 2022.4 A5 49p 600円

《特集 兵庫の城郭絵図研究(西摂津編)—荻原一青の再評価》

荻原一青の描いた西摂津の城郭図

尼崎城／塚口城／富松城／伊丹城(有岡城)／越水城 山上 雅弘

コラム 荻原一青の描いた近代地図3 尼崎城石垣の最後の姿 大国 正美

兵庫県西国一里塚(九) 揖保郡太子町太田・阿曾 中村 和男

高砂の鉄道忌避伝説の真相

—明治期、高砂に山陽鉄道が通らなかった本当の理由 藤原 機

受贈図書紹介 渋谷 武弘

◇352 (61-3) 2022.6 A5 53p 600円

《特集 新史料で読み解くひょうご中世史》

多可郡の景勝地選定について 東野 正明

新発見の豊臣秀吉宛行状等から見た移行期の摂津・菟原郡支配と垣屋

氏 竹本 敬市

七条赤松氏と禅宗一摂津の広厳寺と栖賢寺 片岡 秀樹
 “怪物” 鶴と源三位頼政の行方一京・芦屋・西脇 渋谷 武弘
 新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2014年11月27日～12月5日)
 大國正美／有吉康徳
 扉 多可八景選定絵はがき 其五 野村瀧(旧重春村、東野正明氏蔵)

奈良県

◆奈良学研究 奈良学学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所
 TEL0742-48-8842 1997年創刊

◇24 2022.3 A5 133p

平野氏の田原本陣屋をめぐる試論	谷山 正道
葛城の味耜高彦根神の性格と祭祀	鷺森 浩幸
賀名生に伝わる鬼面駅鈴	伊藤 純
「春日移し」の宗教学的の研究のための覚書	岩井 洋
興福寺と聖徳太子信仰—造形と文献より	多川 文彦
石位寺三尊仏の近代—再認識の始まり・国宝指定・戦前の研究	杉崎 貴英
奈良酒造業への社会学的接近—暫定的な研究枠組み	河口 充勇

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所
 TEL0742-48-8842 1977年創刊

◇53 2022.3 A5 236p

天誅組の変と大和の民衆	谷山 正道
宮井廃寺出土塑像	戸花亜利州
八幡瓦工場の職人組織と太子信仰	西蓮寺 匠
奈良県下の文化財の映像データベース化 重要伝統的建造物群保存地区を中心に	牟田口章人
伝説を創出する民俗儀礼—豊岡市日高町松岡の「ばば焼き」	森 隆男
四天王寺本〔秦川勝像〕めぐって	伊藤 純
鷹司家所蔵「淡海公御影」について	多川 文彦
国宝尊像石標雑考—全国所在一覧稿の提示とあわせて 資料紹介	杉崎 貴英
元禄山陵図の一写本	鷺森 浩幸
帝塚山大学附属博物館所蔵の木造獅子頭とその原所在	福田 皐太

史料紹介 十八世紀中期から二〇世紀初頭の陸奥国会津郡金井沢村に
おける稲の作況記録 中一室井家文書「作毛位付帳」(享和元年か
ら天保十一年まで)

川口 洋

和歌山県

◆熊楠研究 南方熊楠顕彰会

〒646-0035田辺市中屋敷町36 南方熊楠顕彰館内 TEL0739-26-9909

1999年創刊 <http://www.minakata.org>

◇16 2022.3 A5 257p 3000円

南方熊楠における神社合祀反対運動の終りと「十二支考」の始まり 武内 善信
「苦界の正中（くがいのまんなか）」からの跳躍

—アナーバーにおける熊楠の萃点 小野 有五

南方熊楠の睡眠時間と知的活動—昭和期の日記より 雲藤 等

南方熊楠と植物病理学者伊藤誠哉の微小菌類研究 郷間 秀夫

英文論考の草稿の研究—『N&Q』掲載版との比較から 志村 真幸

資料紹介 南方熊楠書簡資料

熊楠蔵書『贈従五位畔多翠山翁伝』の著者山口藤次郎来簡

郷間秀夫・岸本昌也編

本多季磨来簡(一九三五年～一九三七年) 郷間秀夫編

アメリカ時代の「文明進化論」

松居竜五・志村真幸・プラダン ゴウランガ チャラン編

大英博物館理事会への「陳状書」および関連書簡

松居竜五・志村真幸・プラダン ゴウランガ チャラン編

書 評

岩淵幸喜『熊楠と漱石—二人を取り巻く人々』 巽 孝之

安藤礼二『熊楠—生命と霊性』 一條 宣好

志村真幸『熊楠と幽霊』 小谷 真理

小田龍哉『ニニフニ—南方熊楠と土宜法龍の複数論理思考』 辻 晶子

高陽『説話の東アジア—『今昔物語集』を中心に』 金 文京

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生

TEL0735-23-3333 年3000円

◇225 2022.4 B5 2p

総会は6月5日(日)／研修講演会は午後2時から 白石博則先生「奥熊

野の城跡—その魅力と歴史を語る」／東大熊野フォーラム in 新宮
5月14日(土)／歴史探訪スクール／『熊野歴史研究』24号刊行／『木
地屋と鍛冶屋』三重県立熊野古道センター理事 桐村英一郎さん
寄贈／事務局より

◆国際熊野学会会報

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課
TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

◇37 2022.5 A4 4p

熊野を詠む 濃霧のなかで／玉置山へ／丹敷戸畔 小黒 世茂
2022年度国際熊野学会 丹鶴ホール大会「癒やしの霊場・熊野—災い
からの再生」基調講演「魂の再生霊場・熊野」明治大学名誉教授
金山秋男氏、事例報告、意見交換会、総会／「癒やしの霊場・熊野」
関係 見学会

鳥 取 県

◆鳥取県立公文書館研究紀要

〒680-0017鳥取市尚徳町101 TEL0857-26-8160 2005年創刊

◇21 2022.3 A5 103p 500円

米子医学専門学校から米子医科大学、そして鳥取大学医学部までの歴
史 豊島 良太
鳥取県における歴史公文書等の保存・活用の現状と課題
—二つの条例制定と県・市町村の連携による未来への継承 田中 健一
「公文書管理条例」制定に伴う永年保存文書の再選別 田中 泉
明治の写真師 喜多村勘四郎・留蔵—史料にみる永楽堂と写真作例 池本 美緒
草稿「池田農場の概要」と関連史料 伊藤 康
安藤文雄先生の略歴と主な著作物 末次 啓子

岡 山 県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円
2002年創刊

◇82 2022.4 A4 10p

「唐太鼓」の旗印についての再考察 小川 博毅

悲運の武将・宇喜多秀家(5) 決戦への序奏 内藤 勝輔
物語直家記伝 西大寺辺の城 第52回 転変(8) 山重十五郎
令和四年度 宇喜多家史談会報告 石渡 隆純

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒700-0013岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学文学部
久野研究室気付・小野功裕 TEL086-252-2482 年1500円 1986年創刊
<http://historyokayama.s1009.xrea.com>

◇156 2022.4 B5 29p

岡山藩における農兵の取立過程—和気郡を中心に 政次加奈子
書評 倉地克直著『江戸時代の瀬戸内海交通』 山本 秀夫
博物館・展覧会めぐり 広島県立歴史民俗資料館令和3年度の特別企
画展『江戸時代の子ども事情—幼き者へのまなざし—』をみて 沢山美果子
読書日記

堀田善衛『めぐりあいし人びと』(集英社文庫 2008年 第2刷) 久野 修義
会告 投稿規定の改定について 編集局長・東野将伸

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505 1982年創刊

◇41 2022.3 A5 164p

高梁市の歴史と文化—文化財の視点から 田村 啓介
倉敷市南山城跡の発掘調査成果 米田 克彦
坪田譲治—故郷岡山から生まれた作品世界 山根 知子

◆岡山民俗学会会報

〒700-0089岡山市北区津島本町16-5-3 小嶋博巳方 年4000円
<http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇228 2022.5 B5 10p

野狐への高札 木下 浩

2021年度岡山民俗学会賞 受賞者 平松典晃氏

2月例会 発表要旨

まちづくりと民話の活用—岡山の「桃太郎伝説」の事例を中心に 加原奈穂子
備前市日生町大多府での聞き取り 山内 雄英

2022年度総会・研究発表大会 研究発表要旨

火塚／火雨塚再考 角南聡一郎

レンゲ塚—岡山県北における半夏生と麦の節供 大倉 寿仁

岡山県赤磐市稲苺高田地区内の石積工作物についての聞き取り調査

中務 睦美

岡山県の亥の子祭り

立石 憲利

記念講演 水野一典氏「備讃民俗雑記」／総会報告

付録(4頁) 受贈図書・雑誌 目次抄録(2021年4月～2022年4月受贈分)

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇165 2022.3 A5 14p

随想二題

日本画の秘密

森山 知己

文学の豊かさを巡る

熊代 正英

岡山の人物 森田思軒

井上 節子

岡山の自然 鬼子母神のえんじゅ

安川 満

岡山の文化財 倉敷館(旧倉敷町役場)

山崎真由美

わが町・わが村の自慢 真庭市蒜山ミュージアム(真庭市蒜山)

ふるさとの思い出

「奇跡の牛 元気くん」の偉業を後世に伝える(勝央町)

文化財団ニュース 文化財団会員作品展開催／郷土文化講座開催／現

地研修会開催／岡山後楽園 和文化体験 座敷で楽しむ／岡山後楽

園の恒例行事／岡崎嘉平太記念館／犬養木堂記念館

会員だより 「あくら」とボランティア

森 英志

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課

〒710-1398倉敷市真備町箭田1141-1 総務課歴史資料整備室 TEL086-698-8151

1991年創刊 <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/1438.htm>

◇32 2022.3 A5 126p

赤沢兵庫助政定の一門と備中赤沢氏

—細川典厩家・野州家との関わりを中心に

畑 和良

庄屋守屋家に伝わった武家文書の来歴を探る

—乙島村出身の書家・守屋弦啓と江戸幕府大目付史料

大島 千鶴

倉敷大橋銀行の設立と農業倉庫

落合 功

楊貴妃墓誌の真偽

中山 薫

大橋敬之助の叔父・春名文太郎をめぐる武術の人脈

足立 賢二

聞き書き倉敷の歴史 藤戸・天城の移り変わりと私の歩んだ道

北村 精三

資料紹介 昭和二一年倉敷市の諸団体

—「勅令百一号ニヨリ結社協会等届出書」について

山下 洋

資料群紹介 郷中村役場の古文書について

歴史資料整備室

アラカルト 古川古松軒あて浦池九淵書状と小野泉蔵

別府 信吾

実践報告 高等学校地理歴史科(地理総合)学習指導案

高田 能成

報告

令和2年度歴史資料講座 第1回目「乙島村出身の古筆家・守屋眩

啓の生涯～明日は如何なることやら知れぬ」大島千鶴

災害に関する歴史資料調査報告会

令和3年度古文書解読講座 第1回目 人別請取手形を読む、第2

回目 明治初年の旅行届、第3回目 鯉取柏代金をめぐる争い

認証アーキビストについて

新刊紹介 『水島臨海鉄道設立50周年記念誌』/『平成30年7月豪雨災害

記録誌』、『平成30年7月豪雨災害から復興への記録～被災からの歩

み～』、『残す。西日本豪雨災害 私たちは真備に何を残そうとして

のか』/藤尾隆志『シリーズ藩物語 鴨方藩』

コラム 実現しなかった明治五年倉敷県成立

(定兼)

広島県

◆備陽史研究 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 1982年創刊

<http://bingo-history.net>

◇223 2022.5 A4 20p

備後国衆列伝(11) 芦田郡の有地氏

田口 義之

紙上討論 備陽史探訪を読んで

戸田 隆啓

研究レポート 福山城と切岸Ⅱ一切岸と石垣

瀬良 泰三

調査報告 中世石造物の調査報告

文責・篠原芳秀

近世福山の歴史講座 39回

第四部 水野時代総集編—その三一最終編 初代勝成の時

高木 康彦

大門便り 大門駅開業125年

曾我部 光

読者ノート 『日本書紀』の吉備国 九、神になった亀石と亀辺

若林 啓文

1枚の写真から「村境」バス停

岡田宏一郎

郷土探訪 こんなところに福山藩

田口 義之

読者雑感 江田島例会報告の記事

岡田宏一郎

田口義之の備後山城50選(49) 備後湯浅氏の居城 尾首城

1枚の写真から 本郷川の河川工事 岡田宏一郎
備陽史探訪の会NEWS 「福山中世の城 冊子に 備陽史探訪の会
神辺や山手銀山紹介」「中国新聞」福山・尾三 2022年(令和4年)4
月7日(木)／「備陽史探訪の会が論文集第28集 山手銀山城跡の研究
掲載 「山陽新聞」備後版 2022年(令和4年)4月7日(木)

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 TEL082-818-3497

1974年創刊 <http://fs-hiroshima.net>

◇97 2022.3 A5 96p 700円

2022年 交流を見直す 岡崎 環
備後一宮吉備津神社 本殿保存修理事業概要(その一) 尾多賀晴悟
民俗仮面の研究—社会科教材の視点から 石川 律子
志賀神社の六地藏 再考 千田 善博
企画展「大解剖！副読本『わたしたちの広島』—くらしのうつりかわ
りを学ぼう—」
民俗点描 (M・M)

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304三次市三良坂町三良坂2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753

1987年創刊

◇117 2022.4 A4 16p

空からみた弥生の遺跡—三次市三和町矢原遺跡の復元 桑田 俊明
浅野長澄の今宮社勧請について 中畑 和彦
三次盆地の前方後円墳(23) 和知大久保第九号古墳—調査報告 加藤 光臣
八千代町上根発見の一字一石経 神根 信
不肖の教え子—藤村耕市先生との思い出 田村 繁美
三次市内の石造物 河野駒一翁頌碑及び碑文

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇374 2022.5 B5 12+2p

今月の各地 みはら歴史と観光の会創立30周年に寄せて 上田 茂
三原市児童館「ラフラフ」活動の支援
「お殿様のお散歩体験」感想文 鈴木 健次
昔の三原にタイムスリップ 小4 山下 煌來

おとの様のお散歩体験～三原城標柱めぐり～に参加して おひめ様気分でお散歩 壁新聞のご紹介	小6 高階あかり 小6 市藤 優依
昭和22年の天皇行幸(6) お召し列車の編成 日本の牛と馬、交通の歴史(23) 第4章 騎行と車行の歴史 三原市のカワウ対策 第2報(後期)(4) —平成30年～令和2年の取組 令和2(2020)年度 投稿原稿 みはら歴史と観光の会創立30周年に寄せて 「卅周年記念誌」正誤表 ◇375 2022.6 B5 12p	西村 雅幸 三好 邦範 行長 啓三 上田 茂
今月の各地 「西国街道 本町地区まちづくり」に向けて 2022.4.10 春のハイキング感想文 春のハイキング「木ノ浜・新倉コース」下見調査報告 レキカン春のハイキング(木ノ浜・新倉コース)に参加して 雑感 懐かしい場所のハイキング	帯賀 信義 正田 哲夫 新居 康夫 矢原 隆
昭和22年の天皇行幸(7) 12月8日(月)～11日(木) 日本の牛と馬、交通の歴史(24) 第4章 騎行と車行の歴史 三原市のカワウ対策 第2報(後期)(5)—平成30年～令和2年の取組 令和2(2020)年度	西村 雅幸 三好 邦範 行長 啓三

徳 島 県

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
1990年創刊 <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

◇126 2022.3 A4 8p

初公開！ 阿波の大名 蜂須賀家の火消が描かれた図 Culture Club 四国で分布を拡大する外来昆虫 令和4年度企画展「阿波の画壇をたのしむ—近世の画人と作品—」 野外博物館 祖谷の畑作物 情報BOX 阿讃山地産のノストセラス科アンモナイトの新種 レファレンスQ&A 考古資料の3D画像はどのように作るのでしょうか？	大橋 俊雄 山田 量崇 庄武 憲子 辻野 泰之 植地 岳彦
--	---

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇405 2022.4 A5 47p 750円

小特集 愛媛の文化史

- | | |
|--|-------|
| フランスにおける久松定謨と黒田清隆 | 梶岡 秀一 |
| 資料紹介 畦地梅太郎と故郷 愛媛について | |
| 一秋山英一旧蔵資料から | 喜安 嶺 |
| 秋山真之の長子・大に関する一考察 | |
| 一生涯をかけた『仏家辞典』増訂について | 徳永 佳世 |
| 歴史余話 来島村上氏の社殿造営 | |
| 一天正三年別宮大山祇神社社殿造立棟札を読む | 土居 聡明 |
| 関宏成氏の御逝去を悼む | 山内 譲 |
| 新刊紹介 村井祐樹編『近江水口加藤子爵家文書一豊臣政権編』、三輪田米山顕彰会『生誕二〇〇年 三輪田米山展一天皇自在の書』、愛媛県美術館・毎日新聞社編『杉浦非水 時代をひらくデザイン』編集 部郷土その日その日 自令和3年9月至令和4年1月 編集部(柚山俊夫) | |
| 例会記事 第1270回 今治平野の中世集落 近年の発掘調査成果から柴田圭子氏、偉人賢人伝の変容一師範学校郷土館を基点に 松友武昭氏／第1271回 清少納言の時代一『枕草子』と伊予国 大本敬久氏、瀬戸内海・宇和海海民の習俗(一) 武智利博氏 | |

佐 賀 県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇229 2022.3 B5 20p

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 白山神社狛犬一對 | 志佐 惲彦 |
| 崇伝と寺沢広高 | 寺沢 光世 |
| 「鉄」から紐解く唐津の歴史(2) | |
| 一 中近世の「鉄」に関する現状と滑石製石鍋(2) | 立石 総明 |
| 唐津・発掘・発見の話(17) 佐藤の「ドルメン」調査について | 徳富 則久 |
| 史料で読み解く「松原寄り」の実象 | 山田 洋 |
| 『諸岡文書』について | 濱口 尚美 |
| 考古学における地方史研究の成果 五、時代の証(5) | |
| 火山噴出物 5 | 田島 龍太 |

長 崎 県

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052五島市松山町604-10 筑田俊夫方 Tel.0559-74-2667

◇113 2022.5 A5 152p

戦後の五島高等学校～扇子のサインと硬式野球部誕生

五島列島取材記―久賀島(2)

「次、どこ行くの」(2)

五島灘を渡った雲水の旅路(1)―真実を求めて

重ねて深江に思う(2)

藤井憲弘先生と三年一組

「酒屋町春秋」 思い出の酒屋町

福江藩演武場記

京の片隅で(8)

父と同じ道を歩んで 齢八十にしての思い出

思い出すことなど(3)―諸々の記憶をたどる

かるた

「戦争無く、『平和あふるる地球』永久に」(1)

追悼 長谷理事を偲ぶ

コラム 007シリーズ／サポーター／汽船問屋／汀子先生／ヤングケ

アラ―

鳥山 武臣

増田 常德

石田ちとえ

巨海 玄道

上田 浩三

森下 實子

高橋 恒晴

中村千代治

伴 靖子

白濱 重晴

内海 紀雄

山口 輝美

片山 圭弘

筑田 俊夫

(筑)

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一宇」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

◇107 2022.4 A4 12p

石の証言 南洋庁 南洋庁 (60×45)

情勢 ウクライナ情勢、「敵基地攻撃」名称変更、核兵器禁止条約、

オミクロン株、佐渡金山の世界遺産推薦、アメリカ“人種差別の象

徴”南北戦争の南軍将軍の銅像を撤去、ミャンマー国軍幹部の日本

留学、アボリジニの旗、オランダ国王「金の馬車」使用停止

ロシアのウクライナへの軍事侵攻に対する抗議声明

2022年4月3日 「八紘一宇」の塔について考える会

繰り返されてきた“プロパガンダ” NHKラジオ第1「高橋源一郎

「飛ぶ教室」(4月8日(金)放送)採録
トピックス ロゼッタストーンを解説した天才の栄光と悲哀



* 内容説明は、本誌「地方史情報156」末尾の「後記」を参照。

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇250 2022.5 B5 12p

五月定例会レジメ 五・一五への軌跡

下地 和宏

六月定例会レジメ 宮古「三集団」とその創世神話

宮川 耕次

「宮古方言ノート」七〇〇〇余収録—三月定例会を終えて

下地 和宏

第四七回定期総会

事務局

会報二五〇号記念特集

「宮古郷土史研究会会報」創刊の周縁

仲宗根将二

「会報」二五〇号への思い

下地 和宏

私と宮古郷土史研究会

久具 春陽

人生を変えた郷土史講座

新田 由佳

初参加の定例会の思い出と今後の活動への提案

與那覇史香

「会報」の現在・過去・未来

森谷 大介

『綾道 下地南・上野野原コース』発刊

久具 春陽

宮古島市総合博物館「本土復帰50周年パネル展」開催

寺崎 香織

『宮古島市総合博物館紀要』第二十六号の紹介

與那覇史香

宮古島市総合博物館「発見!宮古の希少種 ペニエリルリゴキブリ展」

報告
宮城弘樹著『琉球の考古学—旧石器時代から沖縄戦まで』
5.15「祖国復帰(沖縄返還)」運動50年の回想

湯原 秀捷
久貝 弥嗣
仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆浄土宗関東十八檀林 大念寺日鑑 一 淑徳大学アーカイブズ叢書7
淑徳大学アーカイブズ編・刊 (〒260-8701 千葉市中央区大巖寺町200 淑徳大
学内 TEL043-265-7526) 2018年3月 A5 298頁

平成24年4月に開設された淑徳大学アーカイブズによる関連資料の翻刻シリーズ
「淑徳大学アーカイブズ叢書」第7集。東京感化院を創設した高瀬真卿日記全
二八冊(淑徳大学アーカイブズ所蔵、平成24年～29年刊)に続き、淑徳大学創設に
も関わる浄土宗大巖寺と同じ関東十八檀林 大念寺(茨城県稲敷郡江戸崎)所蔵の
『日鑑』を順次翻刻・刊行する。口絵／巻頭言(長谷川匡俊)／解説 近世の常陸
国江戸崎大念寺と所蔵『日鑑』について(長谷川匡俊)／大念寺日鑑(享保11年9
月～14年6月)／大念寺日鑑(天明2年7月～6年3月)／大念寺日鑑(天明6年3月～9
年12月)／大念寺日鑑(寛政10年11月～文化2年11月)／大念寺日鑑(文化6年8月
～10年12月)

◆浄土宗関東十八檀林 大念寺日鑑 二 淑徳大学アーカイブズ叢書8
淑徳大学アーカイブズ編・刊(同上)2019年3月 A5 249頁
口絵／大念寺日鑑(文政3年正月～8年12月)／大念寺日鑑(文政9年正月～13年閏
3月)／大念寺日鑑(天保11年8月～弘化2年9月)／大念寺日鑑(嘉永元年4月～3年
12月)／大念寺所蔵資料目録

◆浄土宗関東十八檀林 大念寺日鑑 三 淑徳大学アーカイブズ叢書9
淑徳大学アーカイブズ編・刊(同上)2020年3月 A5 189頁
口絵／大念寺日鑑(安政3年9月～4年12月)／大念寺日鑑(安政5年正月～慶応2年
正月)／大念寺日鑑(慶応3年9月～明治3年12月)／大念寺日鑑(明治年正月～5年
6月)

◆浄土宗関東十八檀林 大念寺日鑑 四 淑徳大学アーカイブズ叢書10
淑徳大学アーカイブズ編・刊(同上)2021年3月 A5 248頁
口絵／大念寺日鑑(安永7年2月～8年12月)／大念寺日鑑(寛政2年正月～10年10
月)／大念寺日鑑(文化11年正月～13年12月)／大念寺日鑑(文化13年12月～15年
正月)／大念寺日鑑(文政13年閏3月～天保4年正月)

◆浄土宗関東十八檀林 大念寺日鑑 五 淑徳大学アーカイブズ叢書11
淑徳大学アーカイブズ編・刊(同上)2022年3月 A5 238頁
口絵／大念寺日鑑(慶応元年12月～3年10月)／大念寺日鑑(天保4年3月～8月)／

大念寺日鑑（宝暦5年2月～明和3年6月、文政2年8月～9月）／大念寺日鑑（文化2年10月～3年8月）／大念寺日鑑（天保4年カ12月～3月）／大念寺日鑑（天保11年8月～10月）／大念寺日鑑（慶応元年12月～2年2月）／大念寺日鑑（慶応3年9月～10月）

◆石阪昌孝の生涯 民権ブックス34

町田市立自由民権資料館編 町田市教育委員会（〒195-0063 東京都町田市野津田町897 TEL042-734-4508）2022年3月 A5 83頁

晩年の石阪昌孝／石阪昌孝生誕180年・自由民権140年・開館35周年記念 2021年度特別展《石阪昌孝～豪放磊落な民権家の生涯～》の記録（開催にあたって、Ⅰ幕末の激動期に、Ⅱ〈御一新〉〈開化〉の時代を迎えて、Ⅲ自由民権の萌芽期に、Ⅳ民権運動の領袖として、Ⅴ衆議院議員時代、Ⅵ群馬県知事就任とその後、Ⅶ第死、そして顕彰）／講演録 石阪昌孝の思想的軌跡—民権運動指導者の誕生を跡づける（鶴巻孝雄）／資料目録「渡瀬家文書」石阪昌孝関係目録（松崎稔）

◆映像記録の力—危機を乗り越えるために

第16回無形民俗文化財研究協議会報告書

独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊（〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 無形民俗文化財研究室 TEL03-3823-4925 <http://www.tobunken.go.jp/~geino/>）2022年3月 A4 93頁

昨年に引き続き2021年12月17日にオンライン開催された第16回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて（齊藤孝正）／趣旨説明（久保田裕道・村上忠喜）／第1部 発表 事例報告「コロナ禍における映像活用の取り組み」（鈴木昂太）、問題提起「今、映像記録に求められること」（川村清志）、発表 3点セットの映像記録製作—あげお文化遺産ガイドから（関孝夫）、発表 コロナ禍における記録作成事業—島根県での取り組みから（石山祥子）、発表 動画配信の影響力—静岡県掛川市の三熊野神社大祭を事例として（谷部真吾）、発表 テレビで届ける。楽しく伝える。獅子魂流れ映像活用法！（大島信彦）／第2部 総合討議
コメンテータ：森本仙介・村上忠喜 パネリスト：川村清志・関孝夫・石山祥子・谷部真吾・大島信彦 コーディネータ：久保田裕道 総合司会：後藤知美／参考資料 アンケート集計結果

◆北区立中央図書館（赤レンガ図書館）—旧東京砲兵工廠銃包製造所煉瓦造建造物保存活用工事報告書 文化財研究紀要別冊30

東京都北区教育委員会教育振興部飛鳥山博物館事業係編（〒114-0002 東京都北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133）東京都北区教育委員会（〒114-0023 東京都北区滝野川2-52-10 TEL03-3908-9276）2022年3月 A4 146頁

明治38年設立旧東京砲兵工廠銃包製造所の煉瓦造建造物等を活かしつつ、平成20

年6月に開館した北区立中央図書館の工事記録報告書。口絵(竣工写真、工事経過写真)／ごあいさつ(東京都北区教育委員会)／例言／第1章 煉瓦造建造物概要(施設と建物の沿革、平成5年～10年度建造物調査の結果、建物規模・構造形式)／第2章 現況調査(調査の目的、調査項目、現況調査結果)／第3章 図書館の計画と保存活用の検討(北区新中央図書館建築計画、「北区新中央図書館基本計画」による施設計画、施設概要、煉瓦造建造物の保存に係る検討、参考：初田亨・穂本美緒「東京砲兵工廠銃包製造所(現・自衛隊十条駐屯地)旧275号棟の保存・活用のための調査報告」)／第4章 保存活用工事(北区立中央図書館建築工事概要、参考：施工にあたって設計者佐藤総合計画より示された「仮称北区新中央図書館新築工事 設計意図伝達書(意匠)、解体工事前試験、工事実施手順(煉瓦棟保存工事)、開館、建物の受賞、参考：グッドデザイン賞申請時資料)／竣工図面／竣工写真／図版出典・提供、参考文献・ホームページ

◆武州多摩郡上河原村 御用留(三) 享保五年～寛政七年

昭島・歴史を読む会編・刊(〒196-0004 東京都昭島市緑町1-8-19 松田説子方)
2022年4月 A5 326頁

1991年に発足した「昭島・歴史を読む会」が解説・編集あつた史料集。昨年末発行の『田村金右衛門著作集一宮沢田村井江文書一』の続刊として、既刊『御用留(一)』『御用留(二)』指田萬吉家の本家にあたることされる指田十次家文書より、当主七郎右衛門が上川原村名主を勤めた享保5年(1720)から明治8年(1875)までの御用留を発行。本書には、享保5年から寛政7年(1795)までの記事を収録する。口絵／はじめに(松田説子)／凡例／解説文 目次／解説文／解説 『御用留(三)』(鹿野耕次)／編集後記(昭島・歴史をよむ会 史料委員会)

◆相模国鎌倉郡小塚村「御用留」(12)一明治8年(下) 藤沢市史料集44

藤沢市文書館編・刊(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171)
2022年3月 A5 140頁

藤沢市史料集第42集(2018年3月)に引き続き、旧相模国鎌倉郡小塚村の「御用留」(彦坂増蔵家文書)のうち、明治8年(1875)の後半期4冊を収録する。口絵(御用留の表紙、御用留の一部)／はじめに(藤沢市文書館長)／凡例／目次／件名目次／明治八年第七月下旬「御用誌」1～64／明治八年第九月一日従り「諸御用雑著」65～153／明治八年第十月初旬「御用留」154～225／明治八亥年十二月上旬ヨリ「御用留」226～300

◆歴史をひもとく藤沢の資料 6 長後地区

藤沢市文書館編・刊(同上) 2022年3月 A4 95頁

1967年から始まった藤沢市史編さん事業の成果として刊行された『藤沢市史資料所在目録稿』1～25(1969年～1994年)などをふまえてまとめられた、御所見地区(2016年)、村岡地区(2017年)、片瀬地区(2018年)、湘南台地区(2019年)、善行地

区・湘南大庭地区(2020年)につづく地区別の資料解説・目録集第6集。発刊にあたって／画像でみる長後(地図に見る渋谷荘の空間、藤沢へ 横浜へ、長後商店街のうつりかわり、長後の旧地形と史跡図、「長後地区」とは、空から見た長後地区、カメラが捉えた長後地区)／長後の歴史をひもとく(地誌に見る長後の寺社、数値で見る長後、地図・絵図目録、渋谷荘と土棚新宿一中世の長後地区一、明治時代の長後一雑穀の生産と製糸業の発展、行政村渋谷村、長後商店街の歩み)／長後の歴史資料(各資料群の概要、「藤沢市文書館資料目録(長後地区)」(CD-ROM収録)について、もっと詳しく知りたい人へ、藤沢市行政区画変遷表、藤沢市および周辺行政区画変遷図)／付属CD-ROM 藤沢市文書館資料目録(長後地区)、藤沢市文書館写真目録(長後地区)／藤沢市文書館からのお願ひ

◆**日本語アカデミー**やまと言葉の成立

斎木雲州著 大元出版(〒245-0066 横浜市戸塚区俣野町1403-5-910 FAX045-852-0220) 2022年5月 A5 33頁 1000円+税

はじめに／赤ちゃん言葉の乱用／日本語のルーツ(アイヌの縄文文化)／出雲王国の成立／ヤマト言葉(標準語)の成立／万葉集の編集／女言葉は差別語／男女同権の平安時代／平家物語と封建制／薩摩藩の菊地領併合(1410)／東インド会社と米国独立戦争／フランス大革命とギロチン(小説『紅ハコベ』、フランス語アカデミー)／ナポレオンの平等思想の普及(ロゼッタ石)／戊辰戦争は半革命(島崎藤村の小説『夜明け前』、日本のナポレオン・西郷將軍)／ペリー艦隊の開国要求(1853)(西郷の朝鮮開国策、大久保の江華島事件)／西郷隆盛の進歩政治／九州の自由民権運動(植木枝盛の『民権自由論』)／明六の政変と板垣退助／尊敬語と謙讓語(尊敬語と謙讓語の混用禁止、敬語の多用禁止、敬語の身内使用禁止、「です」「ごさい」混用禁止)／歴史逆流の大久保政治(ビスマルク演説と日本、新聞紙条例)／農民参加の西南デモ戦争／台湾総督・樺山の政治(植民地と国語アカデミー)／文法軽視の国語教育(文法の活用形、流行語と国語の乱れ)／英仏の国語アカデミー／日本語アカデミー

◆**菊田日記3** 第十五番～第十八番 富士吉田市歴史民俗博物館資料叢書3

富士吉田市立歴史民俗博物館(ふじさんミュージアム)編(〒403-0032 山梨県富士吉田市上吉田東7-27-1 TEL0555-24-2411) 富士吉田市教育委員会刊 2022年3月 A4 315頁

1979年「富士吉田市郷土館」として開館した富士吉田市立歴史民俗博物館(ふじさんミュージアム)の資料叢書第4集。令和3年度に実施した古文書調査の成果として、御師菊田(菊屋)の当主菊田式広道による享和3年(1803)から天保6年(1835)までの『菊田日記』(市指定有形文化財 1973年)全36冊のうち、第2集(2018年3月)・第3集(2020年3月)につづき第十五番から第十八番を翻刻・収録する。口絵／序(武藤賢三)／解説『菊田日記②・③』について(菊池邦彦)／資料

菊田日記 第十五番(文化6年(1809)7月～文化7年(1810)6月)、菊田日記 第十六番(文化7年(1810)6月～文化9年(1812)正月)、菊田日記 第十七番(文化9年(1812)2月～文化10年(1813)12月)、菊田日記 第十八番(文化11年(1814)正月～文化11年(1814)12月)

◆**福知山史談会 創立七十周年記念誌**

福知山史談会編・刊(〒620-0884 京都府福知山市南本堀1279 芦田精一方)
2022年1月 A4 194頁

京都府福知山地方の郷土史研究会 福知山史談会の創立70周年記念誌。14編の会員研究発表を中心に、『福知山史談会創立六十周年記念誌』(2011年11月)以降の活動報告を写真付でまとめるとともに、会誌『史談福智山』706号以降の目録も収録する。刊行のことは 福知山史談会創立七十周年を迎えて(芦田精一)／史談会活動報告 平成二十三年度から令和二年度まで(中村邦夫)／麻呂子親王伝説(村上政市)／「牧六人衆」について(赤井信吾)／雀部荘と上ケ市遺跡(梅垣秀基)／中丹地域の鑄物・鑄物師について(大槻伸)／塩見・横山家の系図と現在(中村邦夫)／明智光秀の研究状況と『三宅家文書』の検討について(和田直樹)／明智光秀の築堤を伝える神社—福知山市京町の三木稲荷について(岡部一稔)／近畿地方北部の近世石造物について(崎山正人)／宮津藩二俣村の戸数について(佐古田廣文)／伊能忠敬の北近畿測量行程について(嵐光激)／「代参」について(岡垣清己)／明治初期の学校開設—豊岡県管下第十七大区を中心に(西村正芳)／丹波福知山朽木家十四代朽木綱貞の事績について(井上正暉)／佐藤家・(株)さとうの歴史と時代背景(河波司)／史談福智山目録(中村邦夫)／福知山史談会会則

◆**文化財と保存活用と地域コミュニティ 京都府立大学文化遺産叢書23**

上杉和央編 京都府立大学文学部歴史学科(〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5259) 2022年3月 A4 232頁

京都府立大学文学部歴史学科による研究成果報告第23集。京都府立大学で実施された文化財と地域コミュニティの関係に関する近年の研究成果をまとめる。

〔第1部 文化的景観と地域コミュニティの維持・活性化—自治体の聞き取り調査報告を中心に〕 重要文化的景観「東草野の山村景観」の取り組み 滋賀県米原市(鈴木暁子)、重要文化的景観「蘭島及び三田・清水の農山村景観」選定地の取り組み 和歌山県有田川町(上杉和央)、宇和海狩浜の段畑と農山村景観 愛媛県西予市明浜町 住民ワークショップ(奥谷三穂・長田萌・今堀誠弥・鈴木暁子)、平戸島の文化的景観 長崎県平戸市(鈴木更紗)

〔第2部 まちづくりから見た文化財(事例紹介)〕 地域の公民館活動を基盤にした文化財保存活用の取り組み 長野県松本市(鈴木暁子)、「菘まんじゅう博物館」の取り組みについての聞き取り調査報告(竹内祥一郎)

〔第3部 伝統行事と山間地域の地域コミュニティ維持・活性化(府大 ACTR)—

伝統行事の保存会のアンケート・聞き取りを中心に〕 2020～2021年度府大 ACTR「地域文化財を活用した山間地区コミュニティの維持方策の研究」 伝統行事の保存会への聞き取り調査振り返り座談会／伝統行事の聞き取り報告 久多花笠踊保存会(鈴木暁子)、久多宮の町松上げ保存会(今堀誠弥)、花脊松上げ保存会(長田萌)、広河原松上げ・広河原ヤッサコサイ 広河原松上げ保存会・広河原郷土芸能保存会(長田萌)、松ヶ崎妙法送り火・題目踊 さし踊 公益財団法人松ヶ崎立正会(今堀誠弥)、木野愛宕神社の烏帽子着 木野愛宕神社 烏帽子着保存会(長田萌)、岩倉火祭(石座神社奉賛会(長田萌)、諏訪神社の棚野千両祭(長田萌)、芦生ワサビ祭り(高橋日向)／2020年度 京都府立大学地域貢献型特別研究(ACTR) 京都市左京区における「伝統行事に関するアンケート調査(新型コロナへの対応)」 結果の報告(鈴木暁子)

〔第4部 遺跡の保存活用の取り組み〕 大学が行う遺跡の活用一和東町と京丹後市での実践(土井悠紀)

〔第5部 京都市雲ヶ畑の地域文化財〕 京都御猟場の御猟と射手(東昇)／明治39～大正12年御猟獲物一覧表(京都府立大学歴史学科文化情報研究室)／明治39～41年京都御猟場往復綴件名目録(京都府立大学歴史学科文化情報研究室)／雲ヶ畑、波多野六之丞家文書史料翻刻(京都府立大学歴史学科文化情報研究室)

◆**収蔵資料調査報告書24 吉田初三郎関係資料 上**

宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260) 2022年3月 B5 59頁

宇治市歴史資料館が収蔵する資料の目録と解説からなる収蔵資料調査報告書第24冊。大正から昭和初期、1910年代から30年代にかけて大流行した地域や鉄道沿線を空からの視点で描く鳥瞰図の第一人者 吉田初三郎の251点におよぶ館蔵作品・関係資料の報告書。2年にわたり上・下2冊刊行予定で、本書には原画および印刷鳥瞰図を、来年度下には絵葉書その他の資料を収録する。吉田初三郎関係資料について／吉田初三郎関係資料目録1 原画・鳥瞰図／収蔵資料調査報告書

◆**軍隊と戦争の記憶—旧大阪真田山陸軍墓地、保存への道**

小田康徳著 阿吡社(〒602-0017 京都市上京区衣棚通上御霊前下ル上木ノ下町73-9 TEL075-414-8951) 2022年5月 A5 346頁 3500円

明治4年(1871)4月、兵部省による日本最初の兵隊埋葬地 旧真田山陸軍墓地の設置から150年を迎え、創立以来20年にわたりこの陸軍墓地の調査・保存活動を続けている「NPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会」の理事長を務める著者のこれまでの諸論稿をまとめる。口絵／はじめに／第1部 墓地を知る(旧陸軍墓地の「発見」、研究会の始まりからNPO法人の設立へ、医学と陸軍—史料紹介・軍医監堀内利国の墓碑から見る明治前期の脚気対策、納骨堂の調査、調査の継続と視野の広がり、死者の記録＝「埋葬人名簿」のデータ化から見える

草創期入営者の実態、軍都大阪の形成過程—陸軍の創出、訓練、病気そして戦争、陸軍墓地)／第2部 保存の理念を求めて(旧陸軍墓地保存の基本視点—大阪市と維新の会の動きを前に、陸軍墓地 保存の課題—なぜ? そしてどのように?、旧陸軍墓地を今に生かす道—財務省の予算措置決定を受けて、墓地の実相と戦後の歴史をふりかえって考える、20年の活動から気付くこと)／資料／索引

◆講座・古代王権の興亡 第14回 日本の神話について(その11)

伊勢神宮の成立(1) 妙見山麓遺跡調査会紀要43

神崎勝著 NPOみょうけん (〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294
Tel0795-35-0555) 2022年4月 A4 34頁

NPOみょうけん(妙見山麓遺跡調査会)主催の新講座「古代王権の興亡」第14回「伊勢神宮の成立」の記録。本論 伊勢神宮の成立(はじめに、伊勢地方の有力古墳、櫛田川・祓川と港、渡会・志摩地域の古墳と遠江との交流、記紀の伊勢神宮関連史料、伊勢大神とサル、継体～皇極朝の伊勢大神、孝徳朝の変革、多気の神祇司、多気大神の祭儀、有爾郷の土器生産、大和と東国を結ぶ祓川河口、伊勢神宮の成立、山陰・北陸沿岸の宗教的防備策、伊勢と出雲の日別朝夕大御饗祭、天武・持統朝の伊勢神宮、むすび)

◆講座・古代王権の興亡 第15回 日本の神話について(その12)

伊勢神宮の成立(2) 妙見山麓遺跡調査会紀要44

神崎勝著 NPOみょうけん (同上) 2022年4月 A4 34頁

前集に続き、「古代王権の興亡」第15回「伊勢神宮の成立」の後半を収録。付論 栲幡皇女と伊勢大神(はじめに—栲幡皇女の物語は史実か、湯人廬城部連武彦と父枳莒喩、阿閉臣国見(更名は磯ノ特牛)、栲幡皇女、栲幡皇女の物語の成立、雄略記紀にみる伊勢関係記事)／参考資料 参考資料1 天武紀～文武紀の神祇関連記事、参考資料2 宮川以南の古墳(一覧)、参考資料3 遠江の横穴式木槨墳(一覧)、参考資料4 記紀(仁徳以降)の伊勢関連記事／質疑／妙見山麓遺跡調査会紀要(既刊一覧)

◆赤田光男遺稿集 中近世大和の民俗世界 奈良学叢書4

帝塚山大学奈良学総合文化研究所 (〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 Tel0742-48-8842) 2022年3月 A5 263頁

2021年7月15日に逝去した赤田光男 帝塚山大学名誉教授の遺稿集。『中世都市の歳時記と宗教民俗』(宝蔵館、2020年11月)刊行以降の帝塚山大学奈良学総合文化研究所・文学部の紀要類に発表された論考6篇とともに、未発表論考6篇に加えてまとめる。故赤田光男名誉教授のご遺稿公刊にあたって(蓮花一己)／凡例・緒言、謝辞／第I編 『経覚私要鈔』編 経覚私要鈔にみる世相・怪異・俗信、経覚私要鈔にみる異常世相、経覚私要鈔にみる年中行事と風流／第II編 『大和国無足人日記』編 公慶上人の東大寺大仏殿復興について—『大和国無足人日記』

にみる、『大和国無足人日記』にみる年中行事、大和国田原郷における惣堂の機能と寺院信仰、稲作儀礼と祈雨成就の祝祭、法隆寺の天王寺への出開帳と塔院の復興、法隆寺の居開帳と大野村十輪寺住持の相続、大和国田原郷の葬送儀礼と先祖祭祀、郷土の家運営と家来の存在形態、無足人日記にみる世相史と人生儀礼／赤田光男先生 年譜兼著作目録／初出一覧／編集後記(杉崎貴英)

◆憑霊信仰と日本中世社会 岡山大学文学部叢書1

徳永誓子著 法藏館(〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 TEL075-343-5656) 2022年3月 A5 278+8頁 3500円+税

平安・鎌倉時代の人々は在来の神・仏教の尊格・死者とどのように交感したのか。悪霊技法を行った「験者」と巫女の実態に迫る。序章(本書の課題、本書の構成)／第一章 古代・中世の験者(はじめに、験者の定義、験者以前、験者と修験道、おわりに)／第二章 護法童子考(はじめに、漢文記録・文書の護法、『日本国現報善悪霊異記』の護法、「つく」護法、修行と護法、おわりに)／第三章 梓弓と鼓(はじめに、梓弓と鼓の併用、『春日権現験記絵』のミコ、護法占とヨリマシ加持、人の霊・神の霊、おわりに)／第四章 ヨリマシと験者(はじめに、「つく」と「よる」、物付とミコ、ヨリマシ加持と遊戯盤、おわりに)／第五章 諸天・神祇と念仏—『融通念仏縁起絵巻』毘沙門天靈験譚の分析(はじめに、「毘沙門天名帳加入の段」、「諸神諸天冥衆名帳加入の段」、「鳥畜善願に与するの段」、おわりに)／第六章 騎牛の疫神—『融通念仏縁起絵巻』知恩院藏本・フリーア美術館藏本「正嘉疫癘の段」疫神図の検討(はじめに、広隆寺牛祭の検討、牛を連れた眷属、乞食と疫神、おわりに)／終章／図版一覧／あとがき／索引

◆坂出市史 近世資料篇(その四)

坂出市史編さん所編(〒762-0043 香川県坂出市寿町1-3-38 勤労福祉センター2F TEL0877-44-4044) 坂出市(〒762-0007 香川県坂出市室町2-3-5) 2021年12月 A4 88頁

市制施行10周年記念『坂出市史』と市制40周年記念事業による年表編・資料編二冊(昭和63年)をうけて平成25年度から始まった新『坂出市史』編さん事業。本書では、『古代・中世篇』(2018年11月)、『近世資料篇(その一)』(2019年3月)、『近世資料篇(その二)』(2020年3月)、『近世資料篇(その三)』(2021年3月)につづき、青海町の旧大庄屋「渡邊家文書」から『御用日記』のもっとも古い一冊を収録する。口絵／発刊の辞(有福哲二)／文化十有五年五月改元文政『御用日記』／解題 本篇の概要

◆さかいで瓦物語 文化史さかいでシリーズⅧ

坂出市史編さん委員会編 坂出市史編さん所(同上) 2020年3月 A4 37頁
新『坂出市史』編さん事業の一環としてテーマごとに坂出の生活文化をまとめる「文化史さかいで」シリーズの第8冊。開法寺跡をはじめ坂出市内に多数存在す

る古代寺院の発掘調査の成果を中心に、現場から大量に出土しているさまざまな古瓦を通して、開法寺や古代讃岐の歴史に迫る。発刊の辞(有福哲二)／開法寺と周辺の古代遺跡／屋根を葺く／古代の瓦いろいろ／「開法寺は府衙の西に在り」一記録に見える開法寺／開法寺塔跡の発掘一昭和45年／みえてきた伽藍／開法寺の瓦は四国最古?! 開法寺はいつ造られた?／開法寺を造ったのは誰?／開法寺伽藍の完成／開法寺式軒平瓦の流行／開法寺伽藍の衰退／瓦生産はどこで?／周辺寺院の建立／綾氏ゆかりの瓦／古代官寺の建立／古代の瓦づくり／官寺の瓦を焼いたのは?一府中・山内瓦窯／周辺の山岳寺院／軒瓦から見る開法寺とのつながり／開法寺の瓦の移り変わり／掲載資料一覧／編集後記

◆後記

ロシアのウクライナ侵攻に対して、国内の様々な学会、研究会、諸団体、地方自治体・議会から抗議声明が出されている。歴史分野でも、歴史学研究会、総合女性史学会、長野県の上田小県近代史研究会、九州歴史科学研究会などのほか、単に抗議というだけでなく、ロシア史研究者有志による、「ウクライナ戦争を1日でも早く止めるために日本政府は何をなすべきか一憂慮する日本の歴史家の訴え一」と呼び掛けたものもある。宮崎市の「八紘一宇」の塔を考える会は、4月3日付で機関誌『石の証言』第107号(本号56頁参照)に抗議声明を掲載し、侵攻は国連憲章と国際法に違反する紛れもない侵略であり、言論の自由の剥奪、世界平和への脅威で、許しがたい蛮行であるとして次のように訴えている。「これは戦前の大日本帝国による満州帝国の建設に酷似しています。日本の中国侵略を世界平和の実現であると賛美するために建てられた「八紘一宇」の塔について調査研究することを目的とする私たちの会は、学術集団として戦争犠牲者や抑圧された人々の現実を彼らの喜びや苦悩も含めて表現することにこれまで関わってきました。私たちは史実の歪曲や捏造に強く反対します」。明確な反戦意識を持って調査研究を続ける同会ならではの声明であると感じさせられた。(飯澤)

地方史情報 156 2022年(令和4年)7月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。